

文化を創る、フラッグシップ。

2018 冬

GRANSHIP

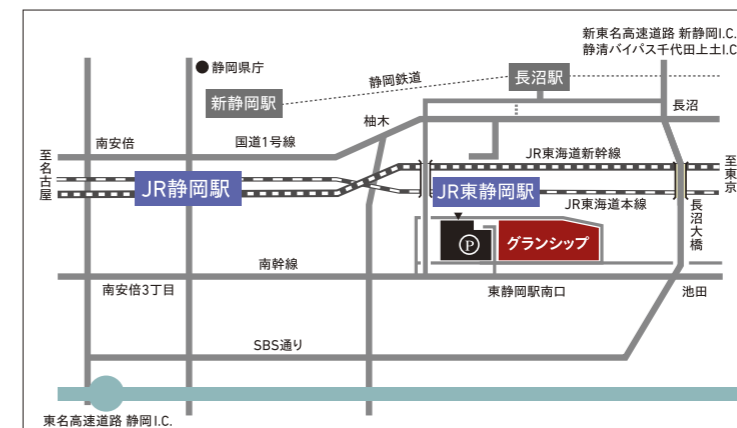
グランシップマガジン vol.12



GRANSHIP グランシップマガジン vol.12 2017年12月15日発行



映像ホール



ACCESS

- JR東静岡駅南口隣接
静岡鉄道長沼駅から徒歩10分
- 東海道新幹線(ひかり)で
東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分
- 車では東名高速道路 静岡I.C.から20分
新東名高速道路 新静岡I.C.から15分
静岡バイパス千代田上土I.C.から10分
- 富士山静岡空港から静鉄バス
(静岡エアポートライナー)で静岡駅まで55分
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分

特集

今年は大岡信ことば館にて開催、「岡を上りきると海」の巻
2017年しずおか連詩の会 in 三島
発表会レポート

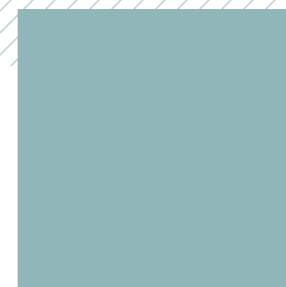
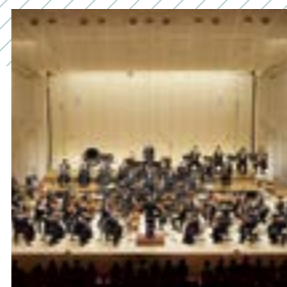
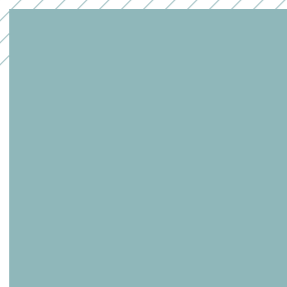
公益財団法人 静岡県文化財団



静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 指定管理者 公益財団法人静岡県文化財団

〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716 <http://www.granship.or.jp>

※平成29年10月より住居表示実施によりグランシップの住所が変更になりました。



04 Feature
グランシップ出前公演
2017年しずおか連詩の会 in 三島
発表会レポート

08 Interview
スペシャルインタビュー！村治佳織
音楽は、「頑張ってるね」って応援するだけじゃなくて
何かを忘れさせてくれる不思議な力も持っているんです。

10 GRANSHIP Feature Stage
NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト
シリーズⅠ〜バロック編〜

12 Pick up1
まだ見たことのない世界へ会いに
グランシップ 静岡の魅力
第9回フォトコンテスト2017 入賞作品展

13 Column
岩下尚史の 伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。
Vol.12 ホンモノになる条件とは？

14 Pick up2
バレタインに贈る熱いジャズ
グランシップ バレタイン ジャズ・ライブ ケイコ・リー

15 Pick up3
楽しい生演奏で大人もリフレッシュ！
菊川文化会館アエル・グランシップ共同事業
0歳から聴こう！ふれあいコンサート

16 GRANSHIP Event Calendar
2018年1月〜3月 グランシップイベントカレンダー

20 Outreach
グランシップ子どもアート体験！学校プログラム
パリ管弦楽団プラス・クインテット

21 Information
第13期グランシップモニター募集

22 Information
グランシップ友の会 会員募集中！

23 Introduction
ふじのくに文化情報センター通信 Vol.11

24 Introduction
磐田ジュニアホスティングクラブ & 特定非営利活動法人クロスメディアしまだ
こどもに、大人に、きちんと伝えよう 地域の文化

25 Introduction
地域の活性化に取り組む文化施設
さあ、行こう！あなたの街で文化の幕開け

26 Exhibition
観て、聴いて私の好きを見つける 静岡の冬
2018年1月〜3月のイベント情報

30 Information
SPAC
ミヤギ能『オセロー』 平川祐弘氏に、創作のきっかけを聞く。

32 Information
静岡県立美術館「アートのなぞなぞー高橋コレクション展」
「富士山と静岡ゆかりの画家たち」

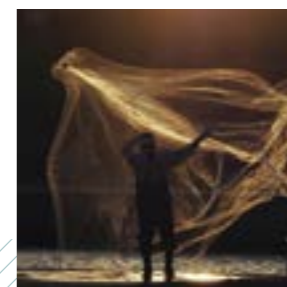
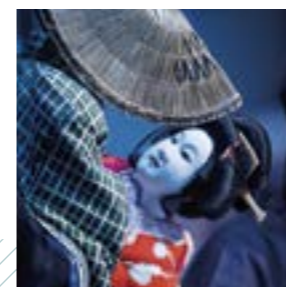
34 Introduction
貸施設のご案内
楕円形を生かし多目的にご利用いただける交流ホール

35 Information & Communication

表紙の絵

浦田周社 西伊豆 戸田港《御浜岬と富士》2008年 340×620mm 木版画

浦田周社(うらた かねたか)
1939年静岡市生まれ。高校卒業後、家業である浮世絵処「版隈」六世を継ぐ。1976年文化庁認定重要民俗文化財選定保存技術保持者に認定。浮世絵木版画彫摺技術保存協会会員となる。1994年静岡市芸術文化奨励賞受賞。1999年静岡県文化奨励賞受賞。2016年静岡県知事表彰受賞。2016年静岡産業大学内に「浦田周社木版画美術館」開館。構想から彫り、摺りまで自ら手がけ作品を制作する一方、伝統技法の継承保存や版画の伝承、普及に尽力する。白日会会員、国際浮世絵学会会員、東京伝統木版画工芸協会会員、静岡県版画協会顧問。





「大岡がないことが何かにつけて胸に来た。今年の連詩は、動きが激しく、うねりが面白かった」

谷川俊太郎

日本を代表する詩人。大岡信さんの盟主的存在で参加は4回目。絵本、エッセー、翻訳など幅広く作品を発表している。

「私にとっては気のおけないメンバー。好きなことを言い合い、素直に受け入れる、活気のある現場でした」

覚 和歌子

詩人・音楽家。参加は5回目。詩作を中心に歌手への詩の提供、朗読、翻訳、舞台演出、絵本創作など幅広く活躍している。



「みんなでダメだしやアイデアを出し合って、練りに練られた作品ができました」

大岡亜紀

画家・詩人。参加は3回目。岩絵の具による抽象絵画を制作。歌人とともに短歌と詩を連ねる「連詩歌」の制作も行う。大岡信さんの長女。



「連詩草創期に倣い、積極的に会話を楽しみました。大岡さんも呆れているんじゃないかな」

四元康祐

詩人。ドイツ・ミュンヘン在住で欧州各地の詩祭でも創作する。参加は3回目。2015年には初小説「偽詩人の世にも奇妙な栄光」を刊行。



「初心に戻り再スタートを切る、大岡さんを追悼するにふさわしい、特別な連詩の会になりました」

野村喜和夫

詩人。参加は12回目。2009年より創作の場をまとめる「ざばき手」を務めている。戦後世代を代表する現代詩人の一人。



グランシップ出前公演 2017年しずおか連詩の会 in 三島 発表会レポート

大岡信の故郷・三島で連詩を巻く

「連詩」とは、複数人で短い詩をリレーのように連ねていく創作現代詩。今年4月に亡くなった詩人・大岡信氏はその提唱者であり、「しずおか連詩の会」ではさばき手から監修まで長年にわたり支えました。18回目となる今回は、氏が生まれ育った三島市で、氏にゆかりのある詩人が参加。5行、3行の詩を交互に編み、大岡氏を想う言葉の数々が散りばめられた40編の連詩を巻き上げました。ここでは、今回の「岡（丘）」を上げると「海」全編と発表会での解説の一部をご紹介します。

【第一番〜五番の解説】

俊太郎：創作開始の前夜に考えたんですけど、どうしても大岡のことが心に浮かびました。大岡に縁のある会だし、大岡がどっかへ行った年でもあるわけで、やはり大岡のことを書きたい。だけど、悔いるものではなくないから「岡（丘）」に託しました。「島」は三島であり、我々5人。これから連詩を巻く小舟を出航させました。今年はグランシップではないので「小舟」です。

亜紀：発詩に込めつつ、次に進める気持ちで書きました。航海に出た私たちが、これから出合う初めてのことにときめいている様子をつたっています。

喜和夫：亜紀さんの「ほのか」が素敵、

の体臭が違うことに気づいている、そんなドラマもあります。冒頭の「信」には大岡さんを込めました。

和歌子：10詩の「甘い唄」が吐息と言葉、「風を意味する語彙」へとつながりました。実は、3行目に幻の一行がありました。ダメだしで削除して、「という詩人のわがまま」と締めました。

喜和夫：ここは決定的でした。4行目をかっこに入れるような間接話法で一気に奥行きが出ましたね。

【第十四番の解説】

俊太郎：13詩はフランス映画みたいで、しかも、詩の中から明らかに声が聞こえてきた。だから、詩から声が聞こえたり、物語が潜んでいたりすることを言いたくなったんです。それに連つづけて、3行目では詩と散文の違いを定義してみました。

【第三十一番〜三十二番の解説】

喜和夫：実は白状しますと、今回、谷川さんに投げかけてみたい思いがありまして、機会を狙っていました。30詩で「光景」という言葉の獲物が現れたので、谷川さんの『二十億光年の孤独』の内容を出して、今の心持を訊ねてみました。

俊太郎：僕は、連詩で書く「私」は、他との関係で出てくるものとしていたので、ちょっと狼狽しましたね。でも、ここは現在の「私」でいいかなと思って書きました。

で、ほのか……と唱えるうちにビールの銘柄の「白穂乃香」が思い浮かんだんです。「水の惑星」「灰のせせらぎ」、こういう結び付きは大岡信風かと思えます。この時は、大岡さんが背後にいる気がしました。

康祐：「白と黒のあわいに 聖なる磁場」を量子力学で受けました。春頃から大岡さんのことをよく考えていたせいか、「生と死」も浮かびましたね。発詩から一巡したこともあり、最初の港に着いたら一番星が出ていた、というイメージにしました。

【第十番〜十一番の解説】

非日常、灰色を日常と思いがちですが、そこを「聖なる磁場」としました。日常に潜む非日常を丁寧に味わう、という詩です。

康祐：覚さんは不本意のようですが（笑）、外国帰りの中年オヤジが若い女性を口説いている場面と受け取りました。彼女は冷めていて、以前と男、

一	岡を上りきると海だった 鳥のうしろに鳥が隠れている そのうしろにもまた鳥がと 見えない鳥々を空想する 鳥から鳥へ小舟で巡ってみたい	俊太郎
二	はじめて逢うものの気配ほのか ためらいがちにころは躍り 先走って風をほらむ	亜紀
三	われわれはそうして 白穂乃香 <small>（シロホノカ）</small> という名前のビールを飲みながら この水の惑星の未来について いや未来なんかなく、ただ果てしなくひろがる 灰のせせらぎの現在について話した	喜和夫
四	白と黒のあわいに、聖なる磁場がある 丁寧 （テイジヤウ） に味わうための ささやかな非日常がひそんでいる	和歌子
五	生きながら死んでいて 死んでなお生きのびる箱のなかの私たち 素粒子たちがくすくす笑いながら 波がしらの両側に弾けてゆく あ、一番星	康祐
六	息子がわつと泣き出した、どうしたの？母が訊ねる 理由が言葉にならないから泣くんだと 物理学のPHDをもつ父は思う	俊太郎
七	ウフィツイ美術館のなか 五百年、救い主を支えつづける 筋肉質の腕と靱い眼差し ミケランジェロは描かなかった たおやかなマリアは	亜紀
八	目線という言葉は嫌い、眼珠は実体として気味悪い でも瞳なら、言葉としても実体としても好きだ 眼にわらべ、憂鬱の黒い太陽のようなわらべ	喜和夫
九	よかつたら二つめの太陽を仰いでみるかい？ ラベンダーの紫色の匂いも 爪やすりのざらざらも 魂だった君が望んだ一度きりの夢なんだから ただ狂へばいいんだ、この世を	和歌子
十	信じてもいいのかしら？ 遠い国からのお土産つきの甘い唄き 最後に会ったときどこか体臭が違う気がする	康祐
十一	風を意味する語彙がいちばん多いのは どんな国のことばだろう いちばん美しい響きのそれは 失われた民族のことばの中にあつてほしい という詩人のわがまま	和歌子
十二	たとえば「ぬ」の浅瀬を渡る、ぬかぬかほし ぬきてぬきあしを経て、スクレオチドぬぐうぬげがらまで でたためにひらいた広辞苑のページだ	喜和夫
十三	電話口ではにかんでいる君の 「もうすこし話せますか？」がいつしか 甘えた命令口調の 「切らないで」にかわつたとき ぼくは君を知つたつもりになつてしまつたんだ	亜紀
十四	詩のなかから声が聞こえる 詩は世界を味付けせずに生のままテーブルにのせる	俊太郎
十五	着の身着のまま、気の向くままに 寅次郎は旅立つてゆく 笑いの衝撃波で生じた時空の結び目から さくら、おいちちゃん、お困子的現実のあとと頼んだよ 革トランクのなかには雲のひとひら	康祐
十六	蚤の市二目目に並ぶ 水鏡の孤心 ヒマワリの種、100gと交換します	和歌子
十七	ひとつの仮面に赤眼の顔が三つ 押し合ひへし合ひ それぞれに口をとがらせ 叫んであるやうな歌つてあるやうな 絶句してあるやうな	喜和夫
十八	その胸に抱かれて ひととびに時を越えてみた 縄文のビーナスはただそこにいて	亜紀
十九	明治生まれの伯母が言つていた「おいと」 辞書にたずねると御居処という漢字が出てきた 当て字かもしれないが 立つ前にヒトは大地に座つていたんだから と赤ん坊ばかり撮つてる某写真家は言う	俊太郎
二十	俺たちはまだ樹の上で暮らしていて 雨に打たれる若葉の先を視ていた、名辞なしで とめどなく口中に湧く睡に噎せつつ	康祐

二十一	ねえはやく分泌して 人工知能との違いはそれしかないんだから うんわかつてる 擦過傷のように放たれた精子が 事後の虹をのぼるんだよね	喜和夫
二十二	朝陽にきらめく鱗の膚の色を求めて 岩絵具を溶かしていたら 告知のLINEに卓上の電話が震えた	康祐
二十三	わたしたちは、光の波長を色彩と認知する ということば 狩野派の金の屏風も フェルメールの青いターバンも、ほんとうは 光そのものということ	亜紀
二十四	少女をふりむかせたのは声だった 呼ばれた名まえは自分ではなくて 生まれずに死んだ弟の	和歌子
二十五	夢を長い長い貨物列車が通り過ぎて行つた そのあとの静けさに目覚めたが 覚えていたのは積まれていた 昔ながらの嵩高い大砲のイメー ジ ウエークアップコールで二度寝から起きた	俊太郎
二十六	なんでもかんでも抑圧された欲望の置換 とみるのはたぶん間違いでしょ 囚われのニジンスキーが暴れ始めました	喜和夫
二十七	旧世代BOTのひねりだした御神籤を 神経突起の小枝に結んで （クオリアの泉）のほとりに佇んでいた、昼下がりに 世界なら隅から隅まで知り尽くしていた まだ一度もこの部屋から出たことはなかったが	康祐
二十八	レシビサイトをスクロールしながら 記憶と味蕾で再現するのは 母の肉じやが	亜紀
二十九	それが海軍カレーの原型だという 空母を飛び立つ機影は 前へ、の呼び声に導かれ やがて雲海に映る まぶしい五つの矢印となる	和歌子
三十	忘れていた光景がフラッシュバックして まどろんでいた懐かしい言葉たちが目を覚まし 新しい地平に戸惑っている	俊太郎
三十一	かつて波の音のする青空から来た青年がいた 彼はそこにとんでもない落とし物をしてきたらしい それがなんであるかを言うのはむずかしいが 喪失それ自体からはじまる生もあるのだ おのきつつ私はいま地上で光年の雫を飲む	喜和夫
三十二	歌えずに絶えず無音の歌を聴いているんです 意味に寄りかかりながら意味の瘦せつぼちを笑っているんです 無限に憧れながら一瞬の美味を貪っているんです	俊太郎
三十三	アポロが月へと飛んだ年 少女にはすでに 何の役にも立たないことが何よりも大事 パネの強いキリギリスを肩先から飛ばして ここからいちばん遠くへ行こうとしている	和歌子
三十四	宇宙では、頭に浮かんだ質問に すぐさま答えが降りるらしいが 星の林に月の船、と降ってきたりもするだろうか	亜紀
三十五	節と節のあいだには、まだ上下も左右もない かぐや姫は黙って目を見開いている 外では今年初めての雪 老夫婦は聞知裏に火をくべて肩を寄せ合っている 闇にひそむ光の輪の外側で	康祐
三十六	ああもう産道でも参道でもいい うつくしい狭窄のなか逆立ちしてダンスダンスしたいよ バックカスの滓がかえ弥勒のフルフル吹きはらし	喜和夫
三十七	父親に連れられて大笑いコンクールに来たマコちゃん 可笑しくもないのに大声で笑う大人たちを キョトンと見ているうちに泣き出した 百面相でなだめようと必死のパパの丹田で 照れ笑いがとぐるを巻いている	俊太郎
三十八	使い込んだ身体は無邪気なむくろになる 引き取る息を待たないで もう来世を企画するような	和歌子
三十九	ぬばたまの夜の透視図法 故郷の水を眼裏に 人生の果樹園から摘みとっていく橘の実 扉がひらかれて 薫りをはなつ、悲歌と祝祷	亜紀
四十	遠ざかりながら打ち寄せるもの 絶え入りながら蘇るもの、無垢の帆を染める 大いなる眺	康祐

創作現場 & 発表会 潜入レポート



創作3日目、11月11日(土)の会場は「大岡信ことば館」の会議室。そろりと入室すると、和やかに議論を交わされていました。今回の参加詩人は「しずおか連詩の会」経験者であり、旧知の仲ということで深い心でつながっていると感じました。この日は、創作開始前に5人揃って「大岡信 追悼特別展」を鑑賞。長女の亜紀さんが思い出を語り、四元さんは大岡信ことば館の岩本館長と熱心にお話を

していました。後で館長に聞いたところ、大岡さんを象徴する「水」について盛り上がったとか。そのようなこともあってか、大詰めを迎えた創作現場では「大岡さんだったら…」という会話シーンが多く見られ、作品にも反映されています。



だし、会場は大いに盛り上がりました。発表会では、本誌に紹介した以外の深い話が満載。来年も会場での生のトークに期待したいですね。

11月12日(日)の発表会は開場前から長蛇の列ができ、客席は満席でした。40編の連詩を作者自身が朗読し、解説。創作現場での苦労話、今だから言える詩人同士のクレーム!?! など思わず本音が飛び

2017年しずおか連詩の会「岡を上りきると海」の巻

創 作 2017年11月 9日(木) 三島市民生涯学習センター
2017年11月10日(金) 三島市民生涯学習センター
2017年11月11日(土) 大岡信ことば館
発表会 2017年11月12日(日) 大岡信ことば館

【第三十七巻〜四十巻】
俊太郎：36詩までがエロティックな雰囲気になってきて困りましたが、大岡ならどう思うか？と考えたら、彼を登場させたくなったんです。ふと、赤ん坊で出てきたら…とあって、「マコちゃん(大岡信)」を登場させました。
和歌子：37詩の「パパの丹田」は「使い込んだ身体」にも解釈できると思っ
て、死んだ途端に来世を企画する「終と再生」をうたいました。
亜紀：終盤で急に「死」が出てきたのでドキッとしましたが、「無邪気」といえば父(大岡信)の笑った顔。父を描きたいと思いましたが、考えていたら、ふと父の著書のタイトルでつながてみたら…と。38詩の「むくろ」から「ぬばたまの夜」、「故郷の水」、「悲歌と祝祷」…、9作品を入れています。1行目では父を送る気持ちをも、2行目からは旅立つ父をうたっています。
康祐：揚詩では、航海に出た5人が冒険を経て、港に戻ってきた様子を書きました。戻ってはきたけど、以前とは違う再出発の心持ち。船の帆は大きな帆に染まってる、と締めました。発詩で「岡」、10詩で「信」と出てきたので、最後はやはり「大」で連詩を締めくくりました。

喜和夫：40詩を通して「大岡信」が刻まれるという、今年にふさわしい、特別な連詩が巻けたと思います。

音楽は、「頑張ってるね」って応援するだけじゃなくて何かを忘れさせてくれる不思議な力も持っているんです。

村治佳織

休養・充電期間を経て、一段と音色に深みが増した村治佳織さん。音楽への思いが詰まったアルバム『ラブソディー・ジャパン』の楽曲を中心に演奏するグランシップのコンサートへの想いなどを伺いました。

長雨が続いた十月下旬。その東の間の秋晴れの日、鮮やかな色のジャケットで現れた村治佳織さん。「今日は静岡からですか?」「静岡は近いですものね」と静岡を身近に感じているご様子。まずは静岡の話題に花が咲きました。

—静岡にご友人、知人がいるなど、ご縁はありますか?

小さな頃からご縁がありまして、10歳から高校を卒業するまで静岡の先生にレッスンを受けていました。静岡駅に着くと先生が迎えに来てくださって、そこからバスに乗って先生の自宅まで行きました。東京の下町で育ったので、街の中から山が見えるのがすごく新鮮でいいなって思っていました。数年前にはプライベートで日本平動物園にも行きました。動物園が好きで、日帰りで行ける場所を探していたら見つけて。園内に「ヒト」という檻(おり)があって、「動物と同じ目線になる」ことに感動しましたね。

—2012年には静岡市で上演された『珠響(たまゆら)』に出演されました。

それまではソロの方やオーケストラと共演することが多かったのですが、『珠響』では歌舞伎という、自分としては珍しいジャンルで演奏したことで印象に残っています。私はクラシックを柱にしていますが、いい音楽であれ

ばジャンルの垣根を越えて演奏したいと思っていますし、常に日本を感じていたい気持ちはありましたから。

—今後チャレンジしてみたいジャンルは?

「こーい、2年コンサートを控えていたこともあって、今は以前よくやっていたチェロや他楽器など他の方々のアンサンブルや弟の奏一とのデュオコンサートの再開を日々嬉しいと感じているところなんです。以前からこのスタイルをととても気に入っていたので、今後はもっと変えてというよりは、今までのようにやっていけたらと思っています。

—オフでも音楽に関わっていることが多いですか?

小さな頃から音楽に関係するものしか習っていないので、でも好奇心は旺盛で。あの頃できなかったことを取り戻すように、水泳や書道などを楽しんでいます。書道は、全身を使って大きな筆でアーティストックに書く、みたいなものを月に2度ぐらいやってみたりして(笑)。新しい仲間もできて、自分が閉じてさえないなければ、これまでの環境以外の人の出会いのチャンスはあるんだって思いましたね。世界は決して狭くないし、自分の人生は多角的で止まってしまうわけではない。そのことを多くの方に伝えたいと思いました。

—今回のコンサートでは、アルバム『ラブソディー・ジャパン』を中心に演奏されますが、このアルバムには強い思い入れがあるようですね?

今までのアルバムは、まず初めに企画があっただけで曲を出し合うというものでした。でも今回は、2016年4月に開催した『難民を助ける会』の11被災者のためのチャリティ・コンサート『がとこも心に残るものだったので、これと同じような内容にしようというところで実現したアルバムです。私自身、当たり前だった日常が違うものになることを経験したので、大変な思いをしている人たちに少しでも前を向いていただけたらという気持ちも強かった。音楽は「頑張ってるね」って応援するだけじゃなくて、聴いている間は何かを忘れさせてくれる不思議な力も持っている。その力を感じていただきたいという気持ちもありました。

—音色も以前にも増して情感に訴えるものを感じました。休養・充電期間中は心情の変化などがあったのでしょうか?

周りの方にありがとって想いを感じながら生活していましたね。1日、2日では変わらない1年とか2年とか・・・積み重ねた日々が音に表れているかもしれないですね。だから、今はあまり先の目標を立てず、この瞬間を大切にするという感じでやって

ています。こうしてインタビューを受けている今も、「楽しく生きよう」と思っているんです。

—「ふるさと」をテーマにしたこのアルバムの軸となるタイトル曲を、弟の奏一さんと弾いていることにも特別な想いを感じます。

被災者の方の中には、帰りたいくても帰れない人もいます。そういう想いか「ふるさと」に焦点を当てたので、温かさを出したいなと思って。自分が本当に想いを共有できる人と弾きたいと思ったとき、弟以外に考えられなかったですね。

—やはり、奏一さんは特別ですね。姉弟ならではの阿吽(あうん)の呼吸や融合感などもありそうですね。

アイコンタクトをしなくても気配で音を出すタイミングとかは感じられますね。肩肘張らずに会話の中から「弾こうか」みたいな感じですよと演奏できる。本番でもそれができる特別な存在です。

—グランシップでは、ぜひこのアルバムの曲を中心に、奏一さんとの共演でコンサートをお願いしたいとオファーしました。

日頃コンサートのお話をいただくときは、「どんなプログラムでもいいです」

と言われることが多かったので新鮮でしたし、私の好きなアルバムを指定してくださったこともすごく嬉しかったです。リリース後にコンサートするのは今回が初めてだと思いますよ。

—それはとても楽しみです。本番に向けて今、どんな想いですか?

音楽だけではなく、お話でも想いをお届けしたいですね。初めて聴かれる方もいらつしやと思うので言葉を足しながら、楽しいひとときになればいいですね。ふるさとをテーマにしているので、静岡の思い出もちょこちょこ交えながら、旅のお話もしたいと思っています。

—最後に、ファンの方や本誌の愛読者の方へメッセージをお願いします。

新しい年の、みなさんが新鮮な気分であるときに、「今年1年、また頑張ろう」と思っていただけ、エネルギーを感じてもらえるようなコンサートになれば嬉しいです。

久しぶりに前髪を下ろし、エレガントな雰囲気からキョートな印象に変化されていた村治さん。素敵なイメージも、今を楽しく生きる。佳織イズムと感じずにはいられません。1月19日のコンサートでは、村治さんのお人柄が感じられるトークにも注目です!

Kaori Muraji

村治佳織

東京都生まれ。幼少の頃より権威あるコンクールで優勝を果たし、15歳でCDデビュー。カリスマ的人気クラシックギターブームを巻き起こした。その後、フランス留学を経てNHK交響楽団や国内外のオーケストラとの共演を重ね、アジア圏でも活動を展開。2003年には英国の名門クラシックレーベルDECCAと、日本人初の長期専属契約を結ぶ。演奏だけでなく、ラジオのナビゲーターやテレビへの出演、エッセイの執筆など幅広く活動している。

村治佳織ギターリサイタル／
ラブソディー・ジャパン

1/19(金) 19:00~

中ホール・大地
一般3,600円 ども・学生1,000円



NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト シリーズI～バロック編～

NHK交響楽団とグランシップのコラボ企画!

グランシップで楽しめるジャズやクラシックなどの多彩なコンサート。今年度からは、グランシップのラインナップに新しい楽しみが加わります。国際的な活躍もめざましく、日本を代表するオーケストラであるNHK交響楽団が、グランシップとのコラボレーションでコンサートシリーズを展開。第1弾はクラシック音楽の歴史を辿るように、バロック音楽からのご案内。さらに、日本を代表する作曲家でピアニストの野平一郎氏が、グランシップが委嘱した新作をオリジナル三部作で制作し、発表します。静岡から全国に、2020年に向けて世界に発信できる大きな文化的財産となることが期待されます。



第1弾はバロック音楽から

1600年頃から栄えたバロック時代は、現在の音楽の歴史の礎ができたと言える時代。それ以前にも、もちろん音楽はありましたが、教会音楽を中心とした口伝による歌が中心となって民衆に親しまれていました。イタリアを中心に栄えたこの時代は、代表的な作曲家ヴィヴァルディなどが活躍したこと、それに伴ってヴァイオリンなどの弦楽器がクレモナ地域で多く作られたことで繁栄し、イタリア以外のドイツやイギリスにも大きな影響を与え、バッハやヘンデルなども大いに活躍しました。今回は、ヴィヴァルディの「四季」などをN響メンバーが披露。日本ではクラシックの代表曲に例えられ、誰もが一度は耳にしたことのある色彩豊かな名曲です。12本の弦楽器に加え、軽やかに響くチェンバロの音も聴きどころのひとつ。また、今回7名全てのヴァイオリニストがソロで演奏しますので、こちらも見どころですね。1年後の第2弾では、バロックの次の時代、1750年頃からの古典派の音楽を予定。時代が進むごとに音楽も次第に大きくなっていきます。

野平一郎氏、渾身の集大成

日本を代表する作曲家であり、静岡では静岡音楽館AOIの芸術監督として知られる野平一郎氏は、フランス文化庁をはじめ、国内外で数多くの委嘱作品の実績があり国際的に広く活躍し、高い評価を受けています。本シリーズでは、3つの作品を三部作として3年間かけて制作し、2020年にはフル・オーケストラ編成の楽曲として完成させる大プロジェクトをN響と展開します。今回は、アンサンブルの編成に合わせた楽曲を第1弾として披露。

NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト シリーズI～バロック編～

3/3(土) 15:00～ ■ 中ホール・大地 ■ S席4,100円 A席3,100円 こども・学生1,000円

【予定曲目】 A.ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集〈和声と創意への試み〉より「四季」Op.8 No.1～4
J.S.バッハ：3つのヴァイオリンのための協奏曲ニ長調BWV 1064a

【出演】 ヴァイオリン：白井篤、松田拓之、三又治彦、宮川奈々、山岸努、横島礼理、横溝耕一
ヴィオラ：坂口弦太郎、中村翔太郎 チェロ：西山健一、山内俊輔 コントラバス：西山真二 チェンバロ：植山けい

これからの予定

2019年3/24(日)
2019年6/27(木)
2020年

NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト シリーズII～古典派編～
NHK交響楽団特別コンサート
NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト シリーズIII～野平一郎三部作完結編～

野平一郎氏に聞く。

このプロジェクトはどのように展開されていくのでしょうか？

Q 今回、静岡をイメージして作曲をしていたと思いますが、作曲にあたって静岡の印象など、イメージされたものは具体的にありますか？

静岡の何か具体的なものを「描いた」作品ではありません。例えばですが「交響曲偉大な富士」とか「交響詩登呂遺跡」という類いの音楽は、自分の領域ではありません。むしろ今回の作曲は、自分が今まで追求してきたさまざまな響きの集大成としての三部作になる予定です。時間や空間の「歪み」、触知できない領域の探究、音響の多様性……といった私の追求してきた音楽の総決算です。それは現代という不安定で虚無な世界を音楽のテクニクに映し出したものです。静岡は、しかしそこで「抽象的」ではありませんが大変重要な役割りを演じています。私にとって、その中で最も大切なイメージとは、静岡が日本一の空間を

擁する地域であること、そしてそれを得てきた気の遠くなるような膨大な時間、というものです。一方で富士山という日本で最も高い山があり、他方駿河湾の日本一低い海底の峡谷があります。このダイナミックな空間は、日本のはるか南での誕生からおよそ6000万年の歴史が作ったものであり、この途方もない時間と空間のイメージが今回の三部作の「根」となっています。

Q シリーズIは小編成のアンサンブルでの演奏ですが、初めの作品として、その特徴、聴きどころはどんなところでしょうか。

私は、この三部作を1つの連続したもの、という風にとらえています。今回、その第1曲という意味では「序」にあたりませんが、決して音楽のジャンルや形式が言うところの「序曲」ではあ

りません。しかし今回は小編成のアンサンブルであり、作品が第2曲、第3曲と進むにつれて編成の「クレスシェンド」が起きます。このことはこの三部作でも重要なことです。今回予定されているのは、個々の作品の演奏ですが、もし将来この3作品を続けて演奏する機会が訪れたとしたら、その「大きな」構成が浮かび上がってくるでしょう。編成的にも小さなもの（小編成のアンサンブル、ないしは室内楽が増幅されたもの）から始まって、大きなもの（大編成の管弦楽）へと移行して行くことで、同じ音楽的アイディアの飛躍的な発展を感じられると思います。

また第1曲の編成は西洋のバロック期に中心だったもの、また第3曲の編成は近代現代に確立したものであり、ここにも同じ音楽思考の時間軸にそった異なった現われ方を体験していただくことが出来るでしょう。実はそのとてつもない「幅」が、静岡に於ける時間と空間の広さにも直接関係してきます。

この第1曲では、大編成のオーケストラとは対極的にある、弦を中心にしたアンサンブルの多様性を持った響き、その繊細さを楽しんでいただけると思います。アンサンブルは個々のソロ・パートへと大変細かく分かれて行きませんが、それが集まって1つの大きなうねりを作るところもあります。その意味でも大きな「幅」を感じていただけることと思います。最後になりましたが、チェンバロという古楽器も、弦のアンサンブルとともに大変活躍します。

Q N響とはこれまで様々な形でこ縮されてきたと思いますが、N響が野平先生の作品を演奏するにあたって、どのようなことを期待されますか？

N響は毎年その年1年間に初演された最も素晴らしい管弦楽作品に贈られる「尾高賞」を主催していて、またその受賞した作品を演奏します。私は過去2回それを受賞し、それぞれ素晴らしい演奏をしていただくことが出来ました。しかしそれは賞という性格上「再演」です。今回は「初演」ということで、日本一素晴らしい、最も機能的なオーケストラであるN響が、どんな響きを作ってくくださるかとても楽しみです。そしてこうしたN響の個々の奏者が持つ名人芸を考慮し活用する「管弦楽のためのコンチェルト」のような発想があります。それもこの作品の聴きどころとなります。

Q 2020年にむけての文化プログラムとして、複数年にわたるシリーズとなりますが、静岡から音楽を通して世界に日本の文化を発信することにはどのような想いがありますか？

私はこれまで日本のあらゆる地域のホールで演奏したり、作品を演奏されたりしてきました。その中で一番縁が深かったのが「静岡」です。特に現在芸術監督を務めている静岡音楽館AOIは開館以来、さまざまなステージをこなしてきたことで最も関係の

深いホールとなりました。音楽家を育ててくれるのは「ホール」であり、その企画・音響・聴衆等すべてのファクターが関与していきます。ホールが音楽家を育てていくという意味で、私と静岡との関係には大変深いものがあります。芸術監督としていつも気にかけていることは、ホールと地域との密着性です。2020年はオリンピックの年ですが、「インターナショナル」という意味を考える良い機会になると思います。すなわち「他方」と「通行」で物事を発信するのではなく、相互関係が重要だと言うことです。日本文化の発信も重要ですが、それが他の文化との関わりで今後どのように動くのか、推移して行くのかということに今最も関心があります。芸大で若い作曲家たちを日頃見ているのですが、彼らは西洋音楽と日本の伝統を二重に背負いながらフレキシブルに揺れ動いて自由で新しい感性を見せています。こうしたことが新しい時代を築いて行くのであろうし、2020年という年がそうしたことに少しでも寄与できれば良いのではないのでしょうか。文化とは、また何か特別なものではなく、日々の生活でもあります。静岡は日本の中でも古いものが残っている文化的に大変重要な場所だと思っていますが、国際的に見てこれからそれがどのように発展していくのかが問われると思います。



野平一郎 (作曲、ピアノ)

東京藝術大学大学院修了後、パリ国立高等音楽院に学ぶ。ピアニストとしてソロ、オーケストラとの共演などを重ねる一方、室内楽奏者としても内外の名手たちと数多く共演する。作曲家としては、既に80曲以上に及ぶ作品を発表している。

第13回中島健蔵音楽賞、芸術選奨文部大臣新人賞、第11回京都音楽賞実践部門賞、第55回芸術選奨文部科学大臣賞、第44回、第61回尾高賞を受賞。2012年芸術選奨受章。現在、静岡音楽館AOI芸術監督。東京藝術大学作曲科教授。

vol.12 ホンモノになる条件とは？

今でも祇園町では、舞子から襟えり替をして藝子に成るのでなければ、一流の格で通すことはむずかしいと言われます。

かつては東京の花柳界でも、下地げちツ妓から半玉の雛妓ひなぎとなり、一本の藝者へと進むのでありました。

そうした年齢ごとの階梯を経ずに、いきなり藝者の披露目をした場合には、いわゆる中年からの藝者として軽んじられ、たとえ美人で売れたとしても、何かにつけて悔しい思いをしなければならなかったものです。

ですから、花柳界では「生え抜き」であることが幅を利かせることはもちろん、見番の序列も披露目をした年月日の早い順に上から下へと居流れて、その席次は玉代の稼とぎや庇護者の社会的地位とは関係ありません。

さらに、たとえば新橋から赤坂へ住み替えをした場合、いかに新橋では名妓であっても、赤坂では新参者として扱われ、組合の名簿の席次をはじめ、座敷や舞台での並び順も、赤坂の若手よりさらに下位に置き

れる定めでありました。それが辛さに、再び、新橋へ復帰しても、今度は帰り新参として、おなじく最下位に置かれます。

このように、幼い頃から同じ土地で修業の階梯を踏み、折目ごとに位を付けてゆく風習は、ずいぶん昔から在ったようで、江戸時代前期の俳人である畠山箕山あはやまが著した『色道大鏡』の中に「よきもの三あり。喝食立かっしょくたての僧、執筆立しつしつたての連歌、禿立かぶたての傾城」とあるのを見ても、これが色里に限ったことではなかったことが分かります。

ちなみに喝食とは禅寺の稚児、執筆は連歌俳諧の席で宗匠に使われる記録係、禿は遊女の養成期間中に在る少女のことです。これに生い立ちや出身を表す「立」が付くと、何れも先輩に仕えることで道を弁え知る者と言う意味になります。

これがホンモノとしての資格を得るために、その道に志す人の、必ず備えなければならぬ条件なのです。

時はうつろい、人の心も変わりやすい世の中で、その道の藝を絶やさ

ぬためには、ときに応じた扱いはありながらも、やたらな替えごと、過ぎた工夫は、やゝもすれば正格を失う虞おそれがありますから、ホンモノの名人たちとしては、そこに心得が要るわけでしょう。

名人上手と申しても、なにも藝能のそれに限るつもりはありません。古代以来の職人である商工業に携わる明治大正生まれの方たちも同様であります。

うわべは世間の好みに合わせながらも、つねに要もと深く、迎合のない傳承の護持に努める態度は頑迷にも見えて、敗戦後生まれの私などには煙たかったのも事実です。

しかし、さまざまな時代の、色々な立場に暮らした、数えきれないほどのホンモノであった人たちの尽力のおかげで、現在の私どもまで、広く豊かな恩沢を蒙あづかっていることを、この先も忘れたくはありません。

わけもなく故きを棄て、新奇を追うにいがかった、この平成と云う世の黄昏たそがに、ふと、そんなふう



TV・ラジオでコメンテーターとしても活躍。
作家・岩下尚史氏のコラムが好評連載中。

岩下尚史(いわしたひさふみ)……作家、國學院大學客員教授、新橋演舞場(株)退社後、芸者の発生と変遷について著した『芸者論』にて、新人としては異例の第二十回和辻哲郎文化賞受賞し、本格的な作家活動を開始。その他、三島由紀夫の恋人への取材を基に書き下ろした『見出された恋』、『ヒタメン』などの著作がある。また、日本の伝承芸能や古典的な暮らしについてのエッセイ等も多数著している。現在、季刊『美しいキモノ』(ハースト婦人画報社)にて、エッセイ「東都風流(あづまのてぶり)」を連載中。新刊『大人のお作法』(集英社インターナショナル刊)が好評発売中。



伝統芸は知るものではなく、
身につけるもの。
岩下尚史



最優秀賞「投網漁」 後藤正徳(掛川市)

グランシップ 静岡の魅力 第9回フォトコンテスト2017 入賞作品展

一瞬をとらえたアート。まばたきせずに、ご覧あれ。

誰もがいつてもカメラを携えている今、日々どれだけ多くの写真が生まれ続けているのでしょうか。気軽な気持ちで撮影できる時代だからこそ、自分しか撮れないその瞬間を切り取るうとプロアマチア問わず多くのカメラマンが活躍しています。静岡県は、徳川慶喜や下岡蓮杖など、多くの先人が日本の写真文化の発展に寄与したことや、富士山をはじめとする豊かな自然、歴史的な名所や旧跡といった被写体の宝庫であることから、全国の写真家を魅了し続けています。「グランシップ 静岡の魅力第9回フォトコンテスト」では、「静岡の魅力部門」、「写真の魅力部門」、「モノクロ部門」合わせて1,080点の応募作品の中から149点の入賞が決まりました。1月13日より、すべての入賞作品をグランシップで展示します。

第9回の最優秀賞は、投網のダイナミックな動きと光の美しさが印象的な後藤正徳さん(掛川市)の作品が選ばれました。他にも、県内外の美

しい景色や人々の豊かな表情が撮影された逸品ばかり。驚きや感動が凝縮された作品を目にする、その背景にあるストーリーを想像してしまいます。そんな、アートとしての要素もある写真展。是非一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。あなたの身近な景色が、とっておきの風景となっ



大竹省二賞「風」水谷サコ(浜松市)

静岡の魅力部門大賞「撮ってよ」遠津輝男(静岡市)

グランシップ 静岡の魅力 第9回フォトコンテスト2017入賞作品展

1/13(土)~28(日) 10:00~17:00 ■6階展示ギャラリー 入場無料

スマートフォンも負けていません!

フォトコンテストの作品というと、一眼レフカメラで撮影するイメージがありませんか?確かに応募作品は一眼レフカメラによるものが多いですが、スマートフォンで撮影された作品も入賞し、こちらからも秀逸。どんなツールでも、感じたものが作品となるのがアートなのです。



グランシップ バレンタインジャズ・ライブ ケイコ・リー

心を揺さぶる魅惑のディーブ・ヴォイス

ジャズ専門誌「スイングジャーナル」の人気女性ヴォーカル部門で13年連続第1位に輝くなど、日本のジャズヴォーカリストとしてトップクラスで活躍するケイコ・リー。2015年にはデビュー20周年を迎え、国内外の一流アーティストとの共演でも注目を集めています。そんな日本ジャズ界をリードする歌姫が、満を持してグランシップに登場します。

華麗な経歴を誇るケイコ・リーですが、幼い頃から音楽教育を受けていたわけではなく、ましてや歌手を目指していたわけでもなかったといえます。21歳の時に独学でピアノを弾き始め、プロピアニストとして演奏活動や音楽教室での指導に取り組んでいた頃、アメリカでジャズシンガーに衝撃を受けてヴォーカリストに転向。努力と音楽の天資で現在の地位を手に入れました。2017年9月には、1970～80年代の日本のヒットポップスをカバーしたアルバム『TIMELESS』をリリース。今回のライブでは、その名曲

の数々も期待されます。

ジャズは、バンドメンバーのアドリブ（ソロ）による「音楽の会話」も魅力の一つ。国内屈指のプレイヤーたちと会話をしてきた野力奏一（ピアノ・キーボード）、岡沢章（ベース）、渡嘉敷祐一（ドラムス）のグルーブ感あふれる演奏にもご注目を。会場は、ステージに近い客席で楽しめる交流ホール。プレイヤーの息遣いまで聞こえてきそうな空間で、しなやかなディーブ・ヴォイスに酔いしれましょう。



グランシップ バレンタイン ジャズ・ライブ ケイコ・リー

2/10(土) 17:00～ ■6階交流ホール 一般5,100円 こども・学生1,000円

〈出演〉ケイコ・リー（ヴォーカル）、野力奏一（ピアノ・キーボード）、岡沢章（ベース）、渡嘉敷祐一（ドラムス）

オリジナルカクテルでOh, Yey!

ジャズのスタンダードには愛を語る曲が多くあります。『マイ・ファニー・バレンタイン』もその一つ。お茶目なミスターバレンタインを想う愛のパラードです。公演当日はバレンタインデーを控えた週末、こちらの演奏も期待したいところです。また、会場ではオリジナルカクテルをご用意しています。大切な人とグラスを傾けながら、ジャジーな夜を過ごしてみませんか？

【演奏曲目】♪ The very thought of you ♪ My romance ♪ Someone to watch over me 他



菊川文化会館アエル・グランシップ共同事業

0歳から聴こう！ ふれあいコンサート

じつとしていなくてもOK！入退場も自由！

気軽に生の音楽を体感しよう。

県内各地に数多くある多様な文化施設。これらの施設は、地域で暮らす人たちが様々な文化に触れ、心豊かに暮らすために設けられています。それは、大人だけでなく、小さな子どもたちにとっても必要な場所ではないでしょうか。

今回、菊川文化会館アエルとグランシップが共同で、0歳児から参加できるオリジナルコンサートを開催します。小さな子どもたちが家族と一緒に生の音楽に触れ、歌い、楽しめる「ほっこり音楽会」。もちろん、日頃から育児を頑張っているパパ、ママたちがリラックスできる楽曲も予定しています。出演は、グランシップアウトリーチ登録アーティストとして学校等でのミニコンサートに取り組み「栗ポーンカルテット」と「ALBOSTリオ」。「栗ポーンカルテット」はチューバとトロンボーンによる編成

で、金管楽器のパワフルな響きと中低音の柔らかな音色が魅力。子どもの身体ほどもある大きな楽器がインパクト大です！一方、マリンバ、ピアノ、パーカッションによる「ALBOSTリオ」は、打楽器ならではの全身を使った演奏や子どもたちを惹きつける親しみのあるプログラムが好評です。金管楽器と対照的な木製楽器の温もりのあるやさしい音色もお楽しみください。それぞれの演奏はもちろん、両グループの合奏も見逃せません。演奏中、子どもたちはじつとしていなくても大丈夫。声を出したり、身体を動かしたり、気兼ねなく楽しめます。

日頃はグランシップまで足を運ぶにくい方も、身近なホールで生の演奏を体感できるまたとない機会です。駐車場もご用意していますので、お気軽にお出かけください。

菊川文化会館アエル・グランシップ共同事業 0歳から聴こう！ふれあいコンサート

2/12(月・休) 11:00～12:15(途中休憩あり) ■菊川文化会館アエル 大ホール 全席自由 500円 ※2歳以下膝上鑑賞無料、入退場自由

栗ポーンカルテット

チューバ栗原良紘、バス・トロンボーン村木健一、テナー・トロンボーン萩原幸枝、伊藤梨紗によるローブラス編成のカルテット。モットーは、「聴いて、観て、楽しめる音楽」。マーチング風に登場したり、楽器に触ってもらったり、ユニークな演奏スタイルで子どもたちを笑顔にします。

【演奏曲目】

栗ポーンカルテット／♪「アメージンググレース」、「青い稔栗のロンド(オリジナル)」他
ALBOSTリオ／♪「剣の舞」、「くまばちの飛行」他 合奏／♪「情熱大陸」他 ※曲目は変更する場合がございます。

2018年1月～3月 グランシップイベントカレンダー

2/10[土]・11[日・祝] 講演会

グランシップ企画事業
グランシップ文化講座
「光科学へのいざない」
 ■9階910会議室 ■各日10:00～
 ■1日につき一般1,000円 学生600円
 2日通し券 一般1,500円 学生900円
 ※高校生以下無料

「光ってなあに？」を軸に光技術の基本から、分光器の作成体験、青色LEDや生物の細胞、光産業まで、2日間全4回の講座で5人の講師と光の導く未来、その最先端に迫ります。

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

2/10[土] 音楽

静岡県中央地区連合会大会
 ■中ホール・大地 ■9:00～17:00
 日本郷土民謡協会 静岡県中央地区連合会
 tel.054-366-5205

2/10[土] 講演会

疼痛緩和のための
医療用麻薬適正使用推進講習会
 ■11階会議ホール・風 ■15:00～18:15
 (公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター
 tel.03-3581-7436

2/11[日・祝] 講演会

静岡県臨床工学士会主催
第16回呼吸器セミナー
 ■11階会議ホール・風 ■9:30～16:30
 ■2,500円
 (一社)静岡県臨床工学士会
 tel.0537-35-2135

2/12[月・休] 音楽

グランシップ企画事業
本誌P15の詳細をチェック!
【菊川文化会館アエル・グランシップ共同事業】
0歳から聴こう!
ふれあいコンサート
 ■菊川文化会館アエル 大ホール
 ■11:00～12:15
 ■500円 ※2歳以下膝上鑑賞無料
 グランシップアウトリーチ登録アーティストによるコンサート。赤ちゃんから大人まで、金管アンサンブルやパーカッションの生演奏をお気軽に。
 〈出演〉栗ポーンカルテット、ALBOSTリオ



菊川文化会館アエル tel.0537-37-3232

1/31[水] イベント

ふじのくに
総合食品開発展2018
 ■大ホール・海 ■9:40～17:00
 静岡県経済産業部マーケティング課
 tel.054-221-2703

1/31[水] イベント

平成29年度
第30回静岡県中部高等学校
定時制通信制生徒合同文化祭
 ■6階展示ギャラリー ■10:00～19:30
 ■中ホール・大地 ■18:20～20:00
 静岡県立科学技術高等学校定時制
 tel.054-267-1144

2/2[金]～4[日] イベント

静岡デザイン専門学校
デザイン・ア・ラ・モード 2018
 ■6階展示ギャラリー 他
 ■10:00～19:00(4日17:00)
 静岡デザイン専門学校 tel.054-252-1766

2/9[金]～13[火] 展示

静岡大学教育学部
卒業・修了制作美術展
 ■6階展示ギャラリー
 ■10:00～18:00(13日17:00)
 静岡大学教育学部美術教育講座
 tel.054-237-9540

2/10[土] 音楽

本誌P14の詳細をチェック!
グランシップ
バレンタイン ジャズ・ライブ
ケイコ・リー
 ■6階交流ホール ■17:00～
 ■一般5,100円 こども・学生1,000円
 幅広いジャンルのアーティストとのセッションも注目されているジャズシンガー、ケイコ・リーが、しなやかなディーブヴォイスで魅了。
 〈出演〉ケイコ・リー(ヴォーカル)、
 野力奏一(ピアノ・キーボード)、
 岡沢章(ベース)、渡嘉敷祐一(ドラムス)



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

1/21[日] 舞台

エス・エス・ティ・ケイ
ジャズダンス発表会
 ■中ホール・大地
 ■第1部13:00～/第2部14:30～
 ■1,000円(第1部のみ)
 (有)エス・エス・ティ・ケイ tel.054-255-9031(月・金)

1/23[火]・24[水] 音楽

グランシップ企画事業
井上道義指揮
大阪フィルハーモニー交響楽団
グランシップ中学生のための音楽会
 ■中ホール・大地 ■各日10:30～/14:00～
 ■1,500円※全席売切

県内の中学生に本物のオーケストラ演奏を聴いてもらうコンサート。
 〈曲目〉ビゼー/組曲『子供の遊び』、プロコフィエフ/バレエ音楽『シンデレラ』セレクション



©飯島隆
 グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

1/27[土] 舞台

グランシップ静岡能
 ■中ホール・大地 ■14:00～
 ■一般5,100円 こども・学生1,000円
 宝生流能楽師による『半部』『鉄輪』、狂言『水汲』を上演。また、静岡県出身の華道家・辻雄貴氏が国際的に活躍する日本画家・千住博氏の協力を得て、日本の原風景をイメージした能舞台を特別演出します。



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

1/27[土] 講演会

静岡県立総合病院
がん医療公開講座(第1回)
 ■11階会議ホール・風
 ■14:00～16:30
 静岡県立総合病院 tel.054-247-6111

1/12[金] 音楽

静岡ガスPRESENTS
グランシップ&静響
ニューイヤーコンサート
 ■中ホール・大地
 ■昼の部14:00～/夜の部19:00～
 ■2,000円 ※受付終了
 新年の幕開けを華々しく彩るニューイヤーコンサート。静岡交響楽団と世界の歌姫・中丸三千繪がオペラアリアの名曲をお届けします。



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

1/19[金] 音楽

本誌P8-9のインタビューをチェック!
村治佳織ギターリサイタル
ラブソディー・ジャパン
 ■中ホール・大地 ■19:00～
 ■一般3,600円 こども・学生1,000円

東日本大震災の記憶を胸に制作したアルバム「ラブソディー・ジャパン」より、懐かしい日本の歌からクラシックの名曲まで幅広いラインナップでお届けします。弟の村治奏一がゲスト参加。



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

1/20[土] 就職

「保育のお仕事フェア」
～就職応援セミナー&相談会～
 ■11階会議ホール・風 他
 ■13:00～16:00
 静岡県・静岡市 保育士・保育所支援センター
 tel.054-271-2110

えほんのひろば



グランシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」では、約5,000冊の絵本をカーペットに座ってゆっくりご覧いただけます。ここにある絵本の貸出・返却・予約のほか、県立中央図書館の本・雑誌や、DVD・朗読CDなどの予約・貸出・返却もできます。また、毎週木曜日の10:30～と15:00～、第3日曜日の10:30～は「おはなし会」を、毎週火曜日の10:30～は「0歳からのおはなし会」を行っています。是非ご参加ください。

- 1月上旬の展示予定 犬と十二支の絵本
- 1月中旬から2月上旬の展示予定 鬼と豆の絵本
- 2月中旬から3月下旬の展示予定 言葉遊びと詩の絵本

1/1[月・祝] イベント

グランシップ初日の出
特別開放
 ■10階展望ロビー ■6:30～ ■入場無料
 元旦に10階展望ロビーを特別開放。天気が良ければ、初日の出に照らされた美しい富士山を眺めることができます。コーヒーなどのサービスも。
 (公財)静岡県文化財団総務課 tel.054-203-5710



1/3[水] その他

2018静岡市成人式
 ■大ホール・海 ■14:00～15:30
 静岡市青少年育成課 tel.054-354-2614

1/4[木] 就職

新春プレミアム
就活準備セミナー
 ■10階会議室 他 ■11:00～16:00(予定)
 (株)静岡新聞社営業局新卒のかんづめ係
 tel.054-284-9018

1/4[木]～10[水] 展示

富士山としぜん写真展
 ■6階展示ギャラリー1
 ■9:00～17:00(4日12:00～17:00)
 富士33会 しぜん同人写真クラブ
 tel.054-246-5630

1/6[土]～8[月・祝] 展示

振袖大ご予約会
 ■6階展示ギャラリー3
 ■10:00～19:00
 和ごころりんず 静岡店
 tel.054-653-3250

1/7[日] 舞台

ダンスパーティー
inグランシップ
 ■大ホール・海 ■13:30～16:30
 ■1,000円
 静岡市ダンススポーツ連盟
 tel.080-6909-3128

3/18[日] グランシップ企画事業 舞台

【グランシップ出前公演】
人形浄瑠璃 文楽
■御殿場市民会館 大ホール ■14:00~
■一般3,600円 子ども・学生1,000円



写真:青木信二
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/18[日] 舞台

The Ball 2018
■6階交流ホール ■15:00~19:30(予定)
■5,000円
K's Dance House tel.054-247-1218

3/21[水・祝] 音楽

**静岡県立科学技術高等学校
吹奏楽部 第9回定期演奏会**
■中ホール・大地 ■18:00~20:00 ■600円
静岡県立科学技術高等学校 吹奏楽部
tel.054-267-1100

3/23[金]~25[日] 展示

ぼくすい会 50周年記念展
■6階展示ギャラリー2 ■9:30~17:30
ぼくすい会 tel.054-237-5661

3/24[土] その他

**第51回
静岡県中材業務研究会**
■6階交流ホール 他 ■10:20~16:20 ■1,000円
静岡県中材業務研究会 tel.053-435-2744

3/24[土] 講演会

**NPO法人
くすり・たべもの・からだの協議会
第13回講演会**
■11階会議ホール・風 ■13:30~15:30
(特非)くすり・たべもの・からだの協議会
tel.054-264-5625

3/27[火]~4/1[日] 展示

笹倉鉄平画展
■6階展示ギャラリー1 ■11:00~19:30
(株)アートテラス tel.03-3517-5755

3/31[土] 舞台

第10回リボン新体操クラブ 発表会
■中ホール・大地 ■15:00~17:30
リボンRG tel.090-3933-4294(望月)


3/10[土] 就職

福祉の就職&進学フェア
■大ホール・海 ■13:00~16:00
静岡県社会福祉人材センター
tel.054-271-2110

3/11[日] グランシップ共催事業 舞台

【グランシップ提携公演】
Chikara 2018 in Shizuoka
■中ホール・大地 ■14:30~
■一般4,000円(当日一般4,500円)
高校生以下1,700円

琉球獅子舞、エイサー、琉球舞踊、沖縄音楽など沖縄の伝統的な舞踊・音楽を踏まえつつ斬新なものを取り入れた新たなパフォーマンスステージ。琉神を中心に各出演者と作り上げるフェスティバル。



Office Ryuujin tel.054-689-3607

3/11[日] 就職

**ナース専科就職ナビ
合同就職説明会2019**
■大ホール・海 ■12:00~16:00
(株)エス・エム・エスキャリア
tel.03-6721-2449

3/16[金] グランシップ企画事業 舞台

**グランシップ寄席
~柳家喬太郎独演会~**
■6階交流ホール ■19:00~
■一般3,500円 子ども・学生1,000円
人気実力ともに落語界を牽引する柳家喬太郎が6年ぶりにグランシップに登場。古典から新作までジャンル不問のスペシャルエース。爆笑ものからじんわりと泣かせる人情噺まで、喬太郎節で魅了します。
ゲスト:一龍齋貞寿(講演)



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/5[月] その他

**第14回
静岡支部神社関係者大会**
■11階会議ホール・風 ■10:00~12:00
静岡県神社庁 静岡支部 tel.054-261-0435

3/8[木] グランシップ企画事業 音楽

**Steve Gadd on
Blicher Hemmer Gadd Project
スティーヴ・ガッド
スーパー・ジャズ・ライヴ**
■6階交流ホール ■19:00~
■一般5,100円 子ども・学生1,000円
エリック・クラプトン、チック・コリア等、世界の頂点を極めたミュージシャンと多数共演し、多大な信頼とリスペクトを受ける伝説的ドラマー、スティーヴ・ガッドの来日公演。
〈出演〉Michel Blicher(ベース)、Dan Hemmer(ハモンド・オルガン)、Steve Gadd(ドラムス)




グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/9[金] 音楽

ヤマサク 春のセンまつり
■中ホール・大地 ■18:30~
■2,500円(5枚セット10,000円)
山作戦 tel.080-4331-5612
(山作戦マネージャー しい鳩子)

3/10[土] グランシップ企画事業 イベント

**グランシップ
ふじのくに文化情報フォーラム2018**
■11階会議ホール・風 ■13:00~
■入場無料
県内の文化芸術活動を支援するふじのくに文化情報センターが開催する、文化団体、アーティスト、文化にかかわる人が一堂に会するフォーラム。




グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/2[金] 就職

**シズオカの会社発見!
セミナー
合同会社説明会**
■大ホール・海 ■10:30~17:00
(株)就職情報センター tel.054-281-5566

3/3[土] グランシップ企画事業 音楽

本誌P10-11の詳細をチェック!
**NHK交響楽団×野平一郎
プロジェクト シリーズ I ~バロック編~**
■中ホール・大地 ■15:00~
■S席4,100円 A席3,100円
子ども・学生1,000円
NHK交響楽団のメンバーで構成された室内オーケストラによるシリーズ。第1回目はバロックの名曲をお届け。日本を代表する作曲家・野平一郎の新作にもご期待ください。
〈曲目〉ヴィヴァルディ:「四季」他




グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

3/3[土]・4[日] その他

**3日/2018年日本褥瘡学会公認
第1回中部地方会教育セミナー
4日/第14回日本褥瘡学会
中部地方会学術集会**
■6階交流ホール 他
3日13:00~16:30 4日9:00~16:00
3日2,000円 4日3,000円(会員)、4,000円(非会員)
学術集会事務局 藤枝市立総合病院
tel.054-646-1111

3/4[日] グランシップ共催事業 音楽

**【グランシップ提携公演】
TAKE HEART BEAT Live Vol.3**
■中ホール・大地 ■17:30~
■2,000円(当日2,500円)
ジャンルにとらわれない選曲で、「EWI」(電子楽器)をビッグバンドで初めて実用化に成功。時代を先取った演奏をお楽しみください。
〈ゲスト〉川口千里(ドラムス)
〈曲目〉SEPTEMBER、Sing Sing Sing、Black Orpheus 他



M's Studio tel.0120-543-365

2/17[土] イベント

**ふじのくに
エコチャレンジCUP**
■6階交流ホール ■13:00~16:00
ふじのくにエコチャレンジ実行委員会
tel.054-271-8806


2/17[土] 講演会

**静岡県立総合病院
がん医療公開講座(第2回)**
■11階会議ホール・風 ■14:00~16:30
静岡県立総合病院 tel.054-247-6111

2/18[日]~3/4[日] 展示

グランシップ企画事業

高松宮妃のおひなさま展
■6階展示ギャラリー ■10:00~17:00
■入場無料
徳川慶喜公の孫にあられる高松宮妃喜久子さまが昭和5年の御成婚の際にお持ちになった京雛を展示。それぞれに葵の御紋が施された600点に及ぶ調度品を是非ごらんください。期間中には、箏のミニコンサートなども開催。



グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

2/18[日] その他

**ふじのくに芸術祭
春の祭典**
■中ホール・大地 ■13:00~17:00
静岡県文化・観光部文化政策課
tel.054-221-2254

2/24[土] 講演会

第57回静岡県病院学会
■11階会議ホール・風 ■13:00-16:30
■2,000円
(公社)静岡県病院協会
tel.054-252-6326

2/26[月] 講演会

**平成29年度
身体拘束廃止フォーラム**
■中ホール・大地 ■9:30~16:30
(一社)静岡県介護福祉士会
tel.054-253-0818

2/12[月・休] 音楽

グランシップ共催事業

**【グランシップ提携公演】
静岡混声合唱団TERRA
第11回演奏会**
■中ホール・大地 ■14:30~16:30
■1,000円
谷川俊太郎、和合亮一、さだまさし、鈴木憲夫らの祈りのメッセージと向き合い、平和・安寧・希望への祈りの歌を60名の混声合唱で高らかに歌い上げます。



静岡混声合唱団TERRA tel.054-253-6698

2/13[火] 就職

**インターンシップ&
仕事研究セミナー**
■大ホール・海 ■10:30~17:00
(株)就職情報センター
tel.054-281-5566

2/13[火] 講演会

鑄物技術講演会
■9階910会議室 ■13:00~17:00
■5,000円
(公社)日本鑄造工学会 東海支部
tel.0565-54-1179

2/14[水] 就職

**JOBプレゼンツ
転職・就職希望者のための
合同企業面談会シゴトフェア**
■大ホール・海 ■12:00~20:00
(株)アルバイトタイムス tel.054-653-3383

2/15[木] 就職

障害者就職面接会
■大ホール・海 ■13:00~16:00
ハローワーク静岡 tel.054-238-8603

2/16[金] 講演会

**静岡設計監理協同組合
創立30周年記念講演
(講師/安藤忠雄氏)**
■中ホール・大地 ■15:00~17:00
静岡設計監理協同組合 tel.054-253-2186

第13期 グランシップモニター募集

グランシップでは、グランシップ企画事業の企画運営に役立てるため、モニター制度を設けています。グランシップ企画事業を鑑賞後、アンケートに回答し、年4回の意見交換会に出席していただきます。現在、2018年4月から活動する第13期グランシップモニターを募集しています。



＜活動内容＞



グランシップ企画事業を鑑賞
モニターの鑑賞は無料
(同伴者は有料)

※交通費支給無し
※一部の事業については、グランシップ以外の
県内施設で実施します



**ご意見・ご感想を
アンケートにて提出(随時)**



**年4回の意見交換会
への出席**
(基本的に土日開催/参加必須)

※交通費実費支給

募集概要

応募資格/静岡県内在住、通勤通学の18歳以上の方(高校生を除く)
募集人数/10名程度
活動期間/2018年4月から2019年3月まで(1年間)
応募方法/指定の申込用紙(グランシップホームページ <http://www.granship.or.jp/> からダウンロード可)に、郵便番号、住所、氏名、電話番号、性別、年齢、職業または学校名を記入するとともに、グランシップ企画事業に対するご意見・ご感想を400字程度にまとめてご応募ください。
応募締切/2018年2月15日(木)必着
〈応募・お問い合わせ先〉
〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号 グランシップモニター係
TEL 054-203-5714 FAX 054-203-5716 E-mail info@granship.or.jp
〈応募結果通知〉3月中旬に応募者全員に郵送にてお知らせします。

グランシップを飛び出して、きみ住むまちへ!アウトリーチ活動

グランシップ 子どもアート体験! 学校プログラム

たくさんのお子たちに
本物の芸術をお届けする、
アウトリーチ活動を実施しています。



STAGE

パリ管弦楽団ブラス・クインテット

2017.10.23(月) 静岡県立静岡南部特別支援学校 小中学部22名

グランシップが一流の演奏者とともに、県内の学校へ向く「グランシップ子どもアート体験」学校プログラム。今回は、フランスより「パリ管弦楽団」の金管楽器の首席奏者5名が、静岡南部特別支援学校でミニコンサートを開催しました。小中学部の生徒と保護者のみなさんが期待に胸を膨らませるなか、アーティストたちがきらびやかな楽器を持って登場。クラシックからフレンチ・ジャズンまで、華やかで色彩的な音色が会場を包み込みました。静岡南部特別支援学校では、自宅からの通学が難しく訪問教育を受けている生徒、併設する病院から通学する生徒など、障害の程度に応じて学習しています。日頃、本物の芸術に触れる機会が多くなるといふことから、世界的に活躍するプロのアーティストが学校で演奏する、初めての機会となりました。会場の大きさや子どもたちに配慮した音量の演奏により、聴覚障害の生徒が演奏に合わせて身体を動かしたり、声を出すことでできない生徒も曲に合わせて心拍数に変化が見られたりと、身体で音楽を感じ、楽しんでもらうことができました。「パリ管弦楽団」のアーティストたちからは、「コンサートは生きもの



音楽の力を改めて感じ、いろいろな音楽を聴く機会が必要だと感じた。(先生)

外国のアーティストが登場してインパクトがあった(生徒)



学校に来てもらったのが何よりうれしかった。(先生)



音楽に合わせて身体をいっぱい動かせました。(生徒)

撮影:グランシップサポーター 平尾正志



ふじのくに文化情報センター通信 vol.11

ふじのくに文化情報センターが10月に開催した「ふじのくに文化情報フォーラム2017秋」とグランシップ文化講座「ゲノムと人間の未来」の様子をお届けします。

「20人」との対話から生まれたもの

交流ホールの壁面の楕円にそってぐるりと二重に置かれた椅子。「文化」の意味を広く捉え、世代、職業を問わず、多彩な活動に取り組む参加者が、1対1で5分間の対話を20人と繰り返すプログラムを実施。さながらスポーツのような賑わいの中、参加者同士が対話することで新たな発見や価値観に気付く場となりました。出会いと対話からは、自らの活動を広げ、さらに発展させる可能性を見出し、改めて活動のビジョンを振り返る機会でもありました。参加後のレポートには、100件以上の新しい発想やアイデアが見られました。この場をきっかけに、静岡県内の文化活動の新しい動きに注目したいですね。



「ふじのくに文化情報フォーラム2017秋」で・あえる ～あなたとわたしでなにかがはじまる～

文化をテーマに、対話を主軸とした交流プログラム。前回のグルーptークから手法を変え、1対1の対話を20人と行いました。他に、大道芸ワールドカップ・プロデューサー甲賀氏と平野センター長によるトークセッション、フリーセッションも盛り上がりを見せました。次回「ふじのくに文化情報フォーラム」は、2018年3月10日(土)に開催。

自らのルーツを知り、最先端の科学から未来へのきっかけを持ち帰る

グランシップ文化講座として2度目の実施となった「ゲノムと人間の未来」では、各分野の第一人者である講師と、高校生をはじめとした若い世代から一般の方も交え、自身や静岡の未来を共に考える2日間となりました。全4回、ゲノムと「人間の進化」・「医学」・「人間の五感」・「人間の未来」のテーマで構成され、通常のサイエンス講座にとどまらぬ、講師と受講者の「対話」を重視した双方向のトークセッションやランチセッションを実施。高校生ならではの瑞々しい感性での質問には、「いい質問ですね」と講師がにっこり微笑む場面も。この文化講座は、調べて得られる知識だけでなく、その場をつくる講師・受講者の一人一人によって、「体験する」文化講座として進化することを目指しています。



2/10(土)・11(日・祝) グランシップ文化講座「光科学へのいざない」

今回のグランシップ文化講座は「光科学へのいざない」と題し、各自が分光器を作成する実験をはじめ、記憶に新しい2014年ノーベル物理学賞の青色LED、バイオ、産業などの分野から、私たちが未来へ導く「光」と向き合う2日間。ランチセッションでは「スーパーカムイオカンテ」などの映像もごらんいただけます。詳しくはふじのくに文化情報サイトで随時公開。



ささえる、つなげる、創造する

ふじのくに文化情報センター
FUJINOKUNI Art / Culture INFORMATION CENTER

グランシップ1階
[TEL] 054-203-5721
[E-MAIL] info@shiz-bunka.com
[HP] www.shiz-bunka.com
[Facebook] www.facebook.com/shiz.bunka/



グランシップ主催公演・イベントが、よりオトクになる!

グランシップ友の会 会員募集中!

会費
無料

グランシップ友の会は、ここ静岡県で、世界の上質で多彩な文化芸術に気軽に親しめるよう、様々なサービスを提供します。



グランシップ友の会会員だけの特別な情報や特典をお届けします。

特典
1

ポイントがたまる・使える

グランシップ主催公演のチケットをご購入いただくと、購入額の5%相当のポイントがつきます。

※一部対象外公演あり
※他の割引サービスとの併用はできません。
(こども・学生券、セット券、ペア券、親子券、通し券、直前割引にはポイントはつきません)
※ポイント有効期限は、最後にチケット購入があった日から2年間。

チケット割引販売

100ポイント単位(1ポイント=1円)で
次回のチケット購入分よりご利用いただけます。

グランシップ1階レストラン・カフェでの割引

500ポイント単位(1ポイント=1円)でグランシップ1階
レストラン・カフェの食事券に引換えられます。

特典
2

チケット先行予約・購入

グランシップ主催公演のチケットを一般発売に先駆け、優先的にご予約・ご購入いただけます。無料の会員登録で、便利なWEBでのチケット予約も可能です。

※一部対象外公演あり

特典
3

催事情報のご案内

グランシップの公演やイベントを掲載した情報誌やチラシをお届けします。



公演をより
深く楽しめる
情報をいち早く
お届け!

特典
4

提携店での割引サービス

会員証の提示により、各提携店のサービスが
会員特別価格でご利用いただけます。2017.12/15現在

- グランシップ内
レストラン・カフェ
「GRAN TERRACE」
- 日本平ホテル
- ホテルセンチュリー静岡
- ホテルアソシア静岡
- スマイルホテル
(旧ホテルアーバンイン静岡)
- 静岡ホテル時之栖
- 三交イン 静岡北口
- 静鉄ホテルプレジオ
- 駿府天然温泉「天神の湯」
- すみやグッディ(楽器・楽譜)
- 静岡県立美術館
- ボーラ美術館
- MOA美術館
- 駿府博物館

ご入会方法

専用の申込書、WEBフォームからお申込みができます。申込書は
グランシップチケットセンター窓口または郵送にて受け付けています。

※グランシップWEBサイト上に記載の「グランシップ友の会」個人会員規約をご確認の上お申し込みください。

入会受付
お問合せ

グランシップチケットセンター

TEL 054-289-9000 (営業時間10:00~18:30)

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号

FAX 054-203-5716 E-MAIL info@granship.or.jp

グランシップ友の会 法人会員

〈特別法人会員〉
静岡ガス株式会社 鈴与株式会社 株式会社静岡新聞社 静岡放送株式会社

〈一般法人会員〉
[Media] 株式会社テレビ静岡 株式会社静岡第一テレビ 静岡エフエム放送株式会社 株式会社創碧社

[Manufacture] 株式会社タミヤ ダイードドリンク株式会社 丸茂電機株式会社 SUS株式会社

[Service] 株式会社ステージ・ループ 静岡県ビルメンテナンス協同組合 静岡信用金庫 株式会社ピーエーシー
株式会社イノウエテクノ 株式会社日本平ホテル 株式会社コアズ 株式会社望月商事 学校法人常葉大学
株式会社東京企画装飾静岡 株式会社ニッセイコム 国立大学法人静岡大学 有限会社近藤リース



地域の活性化に取り組む文化施設

さあ、行こう！あなたの街で文化の幕開け！

アートもカルチャーも、決して遠いところにはありません。身近な施設にも文化芸術に触れるチャンスがありますよ。

浜松市福祉交流センター

浜松市中区

[住所] 〒432-8035 浜松市中区成子町140-8
[TEL] 053-452-3131 [FAX] 053-452-3133
[URL] <http://www.h-fukushikoryu.jp/>
指定管理者: 社会福祉法人浜松市社会福祉協議会、
東海美装興業株式会社、株式会社ステージ・ループ共同事業体



浜松市の福祉関係団体の活動の拠点として、各団体の交流、連携を進めています。また600席のホールや、大・中・小の会議室8室、4室の和室、料理教室、大広間(和室・洋室)、練習室3室を備えています。

バリアフリー映画上映会 1/14(日)14:00～
「聖(さとし)の青春」(主演: 松山ケンイチ)を上映します。バリアフリー映画とは、視覚や聴覚に障がいのある人たちのために副音声や日本語字幕をつけた映画です。(12/7より整理券配布)

富士市文化会館 ロゼシアター

富士市

[住所] 〒416-0953 富士市蓼原町1750
[TEL] 0545-60-2510 [FAX] 0545-60-2505
[URL] <http://rose-theatre.jp/>
指定管理者: 公益財団法人富士市文化振興財団



世界文化遺産登録された富士山の麓、「人が集まり憩える場」「発表の場」「文化を受ける、育てる場」「新しい文化の創出の場」として、国内外のアーティストの公演、地域の文化活動に利用されています。

ロゼフォークプラザVol.14～武田鉄矢と仲間たち～ 2/18(日)17:30～
ロゼシアターでしか聴くことができない一夜限りのコラボレーションライブ! テレビでは見られないスペシャルトークは必見! 出演: 堀内孝雄、イルカ、海援隊

静岡市民文化会館

静岡市葵区

[住所] 〒420-0856 静岡市葵区駿府町2-90
[TEL] 054-251-3751 [FAX] 054-251-9219
[URL] <http://www.scch.shizuoka-city.or.jp/>
指定管理者: 静岡市文化振興財団共同事業体



1978年11月3日に開館し、コンサート、演劇、伝統芸能などの他、市民の創作活動や講演会等幅広く利用されています。主催事業では、ダンス、伝統芸能、オリジナル演劇等の舞台公演や各種ワークショップ等を実施しています。

オペラ「ルサルカ」 1/27(土)14:00～
開館40周年を記念し、ドヴォルザーク作曲のオペラ《ルサルカ》を上演。
指揮: 山田和樹 演出: 宮城聡による壮大なオペラの世界をお楽しみください。

静岡音楽館AOI

静岡市葵区

[住所] 〒420-0851 静岡市葵区黒金町1-9
[TEL] 054-251-2200 [FAX] 054-253-3322
[URL] <http://www.aoi.shizuoka-city.or.jp/>
指定管理者: 公益財団法人静岡市文化振興財団



新しい音との出会い、新しい人との出会いを通じ、未来ある静岡の音楽文化の創造を担う場所として1995年5月に開館しました。ここで生まれる音楽は、きっとあなたに熱い感動を運んでくれるでしょう。

至高の室内楽 横川晴児(クラリネット)と仲間たち 2/17(土)18:00～
長年NHK交響楽団の首席奏者を務め、現在軽井沢国際音楽祭音楽監督の名クラリネット奏者・横川晴児を中心におくるアンサンブルコンサート。

静岡芸術劇場

静岡市駿河区

[住所] 〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2-3-1
[TEL] 054-203-5730 [FAX] 054-203-5732
[URL] <http://spac.or.jp/>
公益財団法人静岡県舞台芸術センター



広い舞台と馬蹄形の客席からなる劇場は、演じる側と観る側の一体感を生み、どこにいても舞台の迫力を間近に感じることができます。リハーサル室、衣裳制作室が最上階にあり、舞台芸術の創造、発表のための設備を完備しています。

SPAC秋→春のシーズン2017-2018#4 ミヤギ能『オセロー～夢幻の愛～』
2/11(日・祝)～3/11(日)
仏アヴィニョン演劇祭のオープニングで絶賛を受けた宮城聡が、シェイクスピア四大悲劇のうち最も痛切な「愛の物語」を夢幻能の形式でたどります。

静岡県舞台芸術公園

静岡市駿河区

[住所] 〒422-8003 静岡市駿河区平沢100-1
[TEL] 054-208-4008 [FAX] 054-208-4014
[URL] <http://spac.or.jp/>
指定管理者: 公益財団法人静岡県舞台芸術センター



東京ドーム4倍ほどの広さを持つ日本平北麓の緑豊かな園内に、野外劇場「有度」、屋内ホール「椿田堂」、稽古場棟「BOXシアター」等が点在する静岡県舞台芸術センター(SPAC)の活動拠点です。

SPAC県月間 劇団かいぞく船『放課後のおと』
2/24(土)14:30～/18:30～、25(日)10:30～/14:30～
公園内の劇場を会場として、自主的な作品をSPACと協同で上演する取り組み。小中高生の劇団「かいぞく船」が、とある高校演劇部の物語を演じます。

こどもに、大人に、きちんと伝えよう 地域の文化

文化芸術は人をつくり、まちをつくり、未来をつくります。
県内各地で優れた文化活動を行っている団体をご紹介します。

磐田ジュニアホステリングクラブ

磐田市

●文化支援(文化と社会をつなげる活動) ●代表/米津幸男 浜松市東区笠井町544-7

ユースホステルを利用した日本唯一の子ども旅行クラブ

ユースホステルを利用し、小中学生の子どもたちだけで旅の計画を立てて実行する日本で唯一の旅行クラブです。旅は班行動で各班3～4人に分かれ、大人の付添いは無く、子どもたちだけで目的地に向かいます。事前に時刻表、地図の見方など旅の知識を学びます。実地では道に迷ったり、電車に乗り遅れて戸惑うこともありますが、「失敗こそ学びのチャンス」と考え、子どもたちの自主性を尊重し、自立心、協調性を育ててきました。初夏、夏休み・秋・春休みの年4回の旅をします。現在のジュニア会員数は男女18人で、昨年度は創立35周年、来年は宿泊数200泊目を迎えます。旅を成し遂げた達成感は大きな自信となります。子どもたちには旅を通じて視野を広げていてもらいたいと思います。



旅先での出会いや仲間への思いやり…。ホステリングは子どもたちの心を広げ、成長させる魅力がいっぱいです。新会員も歓迎しています。

特定非営利活動法人 クロスメディアしまだ

島田市

●文化支援(文化と社会をつなげる活動) ●代表/大石歩真 島田市日之出町2-3

ヒト、モノ、コトをコーディネートして島田を魅力あるまちへ

「スキ(好き)だらけのまちづくり」をコンセプトに、島田市の地域活性・地域コミュニティ・地域情報の3つの柱に基づいたまちづくり活動に取り組んでいます。例えば地域活性では、今年3月に「Art Connect～無人駅×アートルネッサンス～」を開催。大井川鐵道の8つの無人駅を舞台に、8人の作家が絵画や陶芸、彫刻、インスタレーションを通じて、無人駅が見つめてきた「記憶」、「風景」、「営み」を表現し、話題となりました。アーティスト・トークショーでは、地域住民との関わりがリアルに語られ、アートによるまちづくりの可能性が広がりはじめ、今後も島田が「好き」なヒトを増やすために、分野・業種・人・モノ・団体の「スキマ」の地域課題を解決していきます。



地域の情報や出来事を若い感性で集め、発信、コーディネート。地域をより良い姿にするために取り組む、まちづくり集団です。



観て、聴いて 私の好きを 見つける 静岡の冬

1月～3月のイベント情報

東部 for Eastern


<p>1/16[火] 10:30～ 新春 ホルン紅白歌合戦 静岡音楽館AOI 500円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p> 	<p>小泉八雲が愛した「八雲だるま」 江戸時代からの技術を守り続ける「藤枝だるま」。文豪・小泉八雲が愛したことから、「八雲だるま」とも呼ばれ、8の字型の髷が特徴です。近年は、ピンク、グリーン、イエロー…など、カラフルなタイプも人気を集めているようです。</p> <p>開催中～3/18[日] 9:00～16:30 芹沢銈介の収集 一手仕事の世界地図— 芹沢銈介美術館 一般420円、大高生250円、小中学生100円 【問】芹沢銈介美術館 tel.054-282-5522</p>	<p>3/3[土]～11[日] 10:00～18:00 ※最終日～17:00 新進アーティスト作品展Vol.16 Art Generation 2018 富士市文化会館ロゼシアター 入場無料 【問】富士市文化会館ロゼシアター tel.0545-60-2510</p> 
<p>1/20[土] 14:00～ 響ファミリー公演 藤枝市民会館 4,000円 【問】藤枝市民会館 tel.054-643-3931</p>	<p>1/3[水]～3/31[土] 10:00～16:30 絵になった猫展覧会パートⅢ 日本・世界の猫、大集合 日本人形博物館・日本招き猫館 大人600円、大高生200円、小中学生100円 【問】日本人形博物館・日本招き猫館 tel.054-252-3356</p>	<p>3/10[土] 18:00～ 劇団四季 ジーザス・クライスト＝スーパースター 三島市民文化会館 S席8,640円、A席6,480円、B席3,240円 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455</p>
<p>1/21[日] 15:00～ 朝倉さや・城南海・純烈 「今メロ&ナツメロ大行進」 大井川文化会館ミュージコ 4,000円 【問】大井川文化会館ミュージコ tel.054-622-8811</p>	<p>お地蔵様に合格祈願 鳥田市の「旧東海道金谷坂石畳」に佇むお地蔵様は、滑らない山石を敷いた石畳に建てられたことから、「すべらず地蔵尊」と呼ばれています。「滑らない」を祈願することから、毎年1月に「合格祈願祭」を開催。多くの受験生や家族が参拝に訪れています。</p>	<p>3/11[日] 12:00～ 第5回沼津ジャズフェスティバル ～ジャズが聴きたくて…～ 沼津市民文化センター 1,500円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>
<p>1/21[日]、2/18[日]、3/11[日] 13:00～16:00 まなびを遊ぶ連続講座 『土の跡から住まいを創造する。』 登呂博物館 1回 3,800円 【問】登呂会議 tel.054-270-6938</p> 	<p>1/4[木] 14:00～ ニューイヤーコンサート 佐藤帆乃佳ケリー・カルテット 焼津文化会館 1,000円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111</p>	<p>3/21[水・祝] 18:00～ ザ・クロマニヨンズ ラッキー&ヘブン 2017-2018 三島市民文化会館 5,000円 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455</p>
<p>1/21[日]、2/18[日]、3/11[日] 13:00～16:00 まなびを遊ぶ連続講座 『土の跡から住まいを創造する。』 登呂博物館 1回 3,800円 【問】登呂会議 tel.054-270-6938</p> 	<p>1/6[土]～2/12[月・休] 9:30～17:00 ※初日のみ10:00～ 企画展「ふしぎ?発見!あそび百科展」 静岡科学館る・くる 参加無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960</p>	<p>中部 for Central</p>
<p>1/26[金] 19:00～20:30 講演会 はじめての現代音楽 O.メシアン 静岡音楽館AOI 無料(要申込) 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>	<p>1/6[土]～3/4[日] 9:00～16:30 こだいの「ふふっ」展 静岡市立登呂博物館 一般300円、大高生200円、小中学生50円 【問】静岡市立登呂博物館 tel.054-285-0476</p>	<p>開催中～1/28[日] 10:00～19:00 ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ 静岡市美術館 一般1,200円、大高生・70歳以上800円 【問】静岡市美術館 tel.054-273-1515</p>
<p>1/27[土] 14:00～ オペラ「ルサルカ」 指揮:山田和樹、演出:宮城聡、 管弦楽:読売日本交響楽団、合唱:東京混声合唱団 静岡市民文化会館 S席9,000円、A席7,000円、B席5,000円 【問】静岡市民文化会館 tel.054-251-3751</p> 	<p>お地蔵様に合格祈願 鳥田市の「旧東海道金谷坂石畳」に佇むお地蔵様は、滑らない山石を敷いた石畳に建てられたことから、「すべらず地蔵尊」と呼ばれています。「滑らない」を祈願することから、毎年1月に「合格祈願祭」を開催。多くの受験生や家族が参拝に訪れています。</p>	<p>開催中～2/4[日] 9:00～17:00 江戸⇄東京百景 同時開催: ジュゼッペ・デ・フランチェスコ「東京百」 静岡市東海道広重美術館 一般510円、大高生300円、小中学生120円 【問】静岡市東海道広重美術館 tel.054-375-4454</p>
<p>1/13[土] 13:00～/18:00～ 1/14[日] 12:00～ ミュージカル 屋根の上のヴァイオリン弾き 静岡市清水文化会館マリナート S席13,000円、A席9,000円 ※券売状況はお問い合わせください 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885</p>	<p>新年に願いを込めて乾杯 芳醇な味と香り、辛口でキレのある味わいが人気の、清水の地酒「臥龍梅」。独特な商品名は、興津の名刹・清見寺にある、徳川家康ゆかりの「臥龍梅」にあやかって名付けられたそうです。天下の美酒を願うお酒で新年をスタートさせてみては。</p>	<p>澄んだ空気に映えるロマンティックな輝き 冬のデートスポットのひとつ、御殿場高原・時之楯のイルミネーション。光のトンネルや虹色に輝くもみの木など、今年もゴージャスに開催されています。中でも注目は「噴水イルミネーション」。最大到達地点は約70m!光・音・水の三位一体を楽しんで。</p>

1/28[日] 17:00～
スリーハンサムズコンサート2018
～俺たちの放課後～伊豆の国
長岡総合会館(アクシスカつらぎ)
S席4,000円、A席3,500円
【問】伊豆の国市文化振興課 tel.055-949-8600



下田名産をアレンジしたB級グルメ
日本一の水揚げ量を誇る下田市の金目鯛。脂がのったこの時期は煮つけ料理が外せませんが、気軽に楽しめるB級グルメ「きんめクロック」もおすすめ。ほくし身を入れたものやクリーム味、魚の形をしたものなど、お店ごとに違うようです。食べ比べを楽しんでみては。

2/11[日・祝] 13:00～/16:30～
沼津寄席
立川志らく 柳家喬太郎 二人会
沼津市民文化センター
3,500円
【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111




2/17[土] 14:00～
夏井いつき 句会ライブ
沼津市民文化センター
2,500円
【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111

2/17[土] 14:00～
夏井いつき 句会ライブ
沼津市民文化センター
2,500円
【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111

2/18[日] 17:30～
ロゼフォークプラザVol.14
～武田鉄矢と仲間たち～
富士市文化会館ロゼシアター
6,500円
【問】富士市文化会館ロゼシアター tel.0545-60-2510

澄んだ空気に映えるロマンティックな輝き
冬のデートスポットのひとつ、御殿場高原・時之楯のイルミネーション。光のトンネルや虹色に輝くもみの木など、今年もゴージャスに開催されています。中でも注目は「噴水イルミネーション」。最大到達地点は約70m!光・音・水の三位一体を楽しんで。

2/24[土]～4/1[日] 10:00～17:00
春を彩る 佐野美術館のおひなさま
佐野美術館
一般・大学生1,000円、小中高生500円
【問】佐野美術館 tel.055-975-7278



1/14[日] 14:30～
静岡交響楽団 ファミリーで楽しむ
～新春ニューイヤーコンサート～
「ウィンナーワルツとクラシック音楽の名曲をあなたに!」
富士市文化会館ロゼシアター
一般2,000円、高校生以下1,000円
【問】特定非営利活動法人静岡交響楽団 tel.054-203-6578


1/14[日] 18:00～
JAM Project JAPAN TOUR
2017～2018 TOKYO DIVE
三島市民文化会館
7,020円
【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455

1/21[日] 14:00～
ぬまづニューイヤー・ガラコンサート
沼津市民文化センター
一般1,500円、高校生以下500円
【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111

1/21[日] 14:00～
富士宮市制75周年
富士山世界遺産センター開設記念
第九演奏会(エグモント・第九)
富士宮市民文化会館
指定席4,000円、自由席3,000円、学生1,500円
【問】小林 tel.0544-21-9812


竹取の里の“かるた姫”
高校生のかるた選手権大会を題材にした映画「ちはやふる」。実際に、大会は昭和54年から開催されていて、静岡県は優勝の常連県。これまで全39回のうち、24回は県内高校が優勝し、そのうち12回が県立富士高校。竹取の里は、“かるた姫”の町でもあるようです。

1/21[日] 13:30～
三島グロリア合唱団 第35回記念演奏会
J.S.バッハ クリスマス・オラトリオ
三島市民文化会館
3,000円
【問】三島グロリア合唱団 tel.055-972-2291



1/27[土] 14:00～
平成29年度公共ホール音楽活性化支援事業
おやこで楽しむ フルーツコンサート
裾野市民文化センター
一般1,000円、3歳～高校生500円、親子券1,200円
【問】裾野市民文化センター tel.055-993-9300

1/28[日] 14:00～
宝塚OGによるファーストコンサート
御殿場市民会館
S席3,000円(中学生以下2,000円)、
A席2,000円(中学生以下1,000円)
【問】御殿場市民会館 tel.0550-83-8000



開催中～4/8[日] 9:00～17:00
リニューアル記念 上原コレクション名品選
—印象派の絵画から平安の仏像、写経まで—
上原美術館
一般1,000円、学生500円
【問】上原美術館 tel.0558-28-1228

開催中～3/4[日]
9:00～16:30
第55回企画展 産業の種蒔く人
～伝法中原4号墳と古代のエンジニアたち～
富士山かくや姫ミュージアム
無料
【問】富士山かくや姫ミュージアム tel.0545-21-3380

1/7[日]～2/18[日] 10:00～17:00
上杉家の名刀と三十五腰
佐野美術館
一般・大学生1,000円、小中高生500円
【問】佐野美術館 tel.055-975-7278

1/7[日] 15:00～
ソロ活動35周年記念 林英哲
アコースティックコンサート2018 in 沼津
—あしたの太鼓打ちへ—
沼津市民文化センター
一般6,000円、高校生以下3,500円
【問】イーストン tel.055-931-8999

愛情たっぷり、雛のつるし飾り
伊豆・福取では昔から、「雛のつるし飾り」という風習が受け継がれています。吊るす飾りは実に様々で、それぞれに意味があるそう。花は「かわいらしく」、巾着は「お金に困らないように」、唐辛子は「魔除け」など、我が子への思いが込められています。



<p>2/17[土]~3/25[日] 10:00~17:00 佐々木信平 回顧展 平野美術館 一般500円、中高生300円、小学生200円 【問】平野美術館 tel.053-474-0811</p>	<p>1/20[土]~3/25[日] 9:30~17:00 特別展 創画会70周年記念展 浜松市秋野不矩美術館 一般300円、高校生500円、小中学生300円 【問】浜松市秋野不矩美術館 tel.053-922-0315</p>	<p>開催中~1/14[日] 9:30~17:30 キルトとおとぎ話の世界展 ~驚沢玲子「キルトおぶはーと」~ 磐田市香りの博物館 一般300円、学生200円、小中学生100円 【問】磐田市香りの博物館 tel.0538-36-8891</p>
<p>音楽のまちに響く、フレッシュなアンサンブル 音楽のまち・浜松市ではクラシックやジャズなど、様々なビッグイベントが開催されています。毎年3月といえば、「吹奏楽の甲子園」と呼ばれる「全国高等学校選抜吹奏楽大会」。全国から選抜された高校吹奏楽部十数校が出場し、若さあふれる演奏が繰り広げられます。</p>	<p>1/20[土] 14:00~ 2018 浜フィルニューイヤーコンサート アクトシティ浜松 SS席10,000円、S席8,000円、A席6,000円、自由席:一般4,000円、学生2,000円 【問】特定非営利活動法人 浜松フィルハーモニー管弦楽団協会 tel.053-458-6636</p>	<p>開催中~1/14[日] 9:30~17:00 所蔵品展 秋野不矩 画業の地平IV 古き日を想う 浜松市秋野不矩美術館 一般300円、高校生150円 【問】浜松市秋野不矩美術館 tel.053-922-0315</p>
<p>2/18[日] 17:00~ 2018 宮川彬良まつり アクトシティ浜松 S席5,000円、A席3,000円、学生1,000円(大学生以下・当日指定) 【問】浜松市文化振興財団 tel.053-451-1151</p>	<p>1/23[火] 19:00~ アクト・プレミアム・シリーズ2017 Vol.5 チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル アクトシティ浜松 S席5,000円、A席4,000円、学生1,000円(24歳以下・当日指定) 【問】浜松市文化振興財団 tel.053-451-1114</p>	<p>食べる「厄除け」 厄除け観音で知られる袋井市の法多山尊永寺。こちらの名物といえば「厄除け団子」。5本の串にさしたお団子は頭・首・胴体・手・脚を表していて、食べて厄を払うという意味が込められているそうです。1本が小ぶりなので、5本でもペロリといけます。</p>
<p>2/25[日] 14:00~ 静岡幕末伝~侍たちの茶摘み唄~ 菊川文化会館アエル 指定席一般2,000円、大学生以下1,000円 自由席一般1,800円、高校生・大学生900円 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-37-3232</p> 	<p>SEONG-JIN CHO </p> <p>冬限定・魅惑のグルメ、「牡蠣カバ丼」 浜名湖産の牡蠣は身が大きく、重量があり、濃厚。そんな優秀素材を使用した新グルメが、「牡蠣カバ丼」です。ふりふりの牡蠣は、鯉のカバ焼きのたれがたっぷり浸み込んで食欲加速! 3月中旬まで、浜名湖周辺の飲食店約20店でいただけます。</p>	<p>1/6[土] 14:30~ ウィーン・サロン・オーケストラ・ニューイヤー・コンサート2018 アクトシティ浜松 S席6,000円、S席ベア10,000円、A席5,000円、A席ベア8,000円、B席4,000円 【問】榊プロ アルテムジケ tel.03-3943-6677</p> 
<p>3/17[土] 10:30~ 浜名湖の砂で砂時計を作ろう! 浜名湖体験学習施設ウォット 310円 【問】浜名湖体験学習施設ウォット tel.053-592-2880</p> 	<p>1/28[日] 14:00~ MIBU New Year Concert2018 ウィーン伝統のトランペットコアと管楽合奏の饗宴Vol.4 浜松市天竜壬生ホール 一般1,000円、高校生以下500円 【問】浜松市天竜壬生ホール tel.053-922-3301</p>	<p>1/14[日] 14:00~ 磐田市・駒ヶ根市友好都市50周年記念 磐田寄席 アミューズ豊田 ゆやホール 2,500円 【問】磐田文化振興会 tel.0538-35-7133</p>
<p>3/18[日] 13:30~ 第6回アエル高校生吹奏楽フェスティバル 菊川文化会館アエル 前売券500円 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-37-3232</p>	<p>1/28[日] 14:00~ 浜松ワールドミュージックフェスティバル2018 こどものための音楽会 なゆた浜北 大人1,000円、3歳~高校生500円、親子ペアチケット1,000円 【問】NPO法人浜松ミュージック・アート少年団 tel.053-570-3062</p>	<p>1/18[木] 10:30~ 妊婦とお母さんのためのゆるやかコンサート in 天竜 Vol.2 浜松市天竜壬生ホール 大人500円、高校生以下入場無料 【問】浜松市天竜壬生ホール tel.053-922-3301</p> 

3/10[土] 11:00~16:00
文化会館でアートと遊ぼう!
 川根本町文化会館
 一般1,000円、小中高生500円
 【問】川根本町文化会館 tel.0547-59-3106

2/10[土]~3/25[日] 10:00~19:00
白隠禅師250年遠諱記念展
駿河の白隠さん
 静岡市美術館
 一般1,200円、大高生・70歳以上800円
 【問】静岡市美術館 tel.054-273-1515

1/27[土] 18:00~
第17回 静岡音楽館AOI
コンサート企画募集事業
アンサンブル・アンスピレ 木管五重奏の楽しみ
 静岡音楽館AOI
 2,500円
 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200



おいしくて、ほっぺが落ちそう!
 静岡生まれの農産物は多品種で良質、まさに「ふじのくに農産品」です。この時季に楽しみたいのはイチゴ。全国シェア第5位の「紅ほっぺ」や上品な甘さが特徴の「章姫」など、5月頃まで各地でいちご狩りも楽しめます。

3/10[土] 15:00~
聲明 鎮魂の祈り 東日本震災復興支援
四箇法要《花びらは散っても花は散らない》 附
宮内康乃:《海霧讃歎》
 静岡音楽館AOI
 3,500円
 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200

2/11[日・祝] 15:00~
第12期ピアニストのためのアンサンブル講座
修了記念コンサート
 静岡音楽館AOI
 1,000円
 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200

2/3[土]~3/18[日] 9:00~16:30
幻の大寺 建穂寺
 静岡市文化財資料館
 一般200円、小中学生50円
 【問】静岡市文化財資料館 tel.054-245-3500

3/10[土] 13:00~15:45
3/11[日] 10:00~15:45
サイエンスピクニック2018
 静岡科学館る・くる
 参加無料(入館料別途)
 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960

2/11[日・祝] 15:00~
第12期ピアニストのためのアンサンブル講座
修了記念コンサート
 静岡音楽館AOI
 1,000円
 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200

広重の傑作「蒲原 夜之雪」のナゾ
 歌川広重の傑作「蒲原 夜之雪」は雪景色が美しい浮世絵ですが、「滅多に雪が降らない蒲原に、なぜ豪雪?」との声も多いようです。現代化した東海道の中で、今も古い町並みを色濃く残す蒲原。作品を頼りに、ナゾの景色を眺めてみては。

3/18[日] 10:00~15:30
おもしろ科学フェスティバル
 静岡科学館る・くる
 参加無料(入館料別途)
 【問】静岡科学館る・くる tel.054-284-6960



2/11[日・祝]~18[日]
徳川記念世界囲碁まつりイン静岡
 静岡市民文化会館ほか
 【問】徳川記念世界囲碁まつり静岡実行委員会 tel.054-252-8934

2/4[日] 14:00~
宗次郎 オカリナ コンサート
 大井川文化会館ミュージコ
 3,000円
 【問】大井川文化会館ミュージコ tel.054-622-8811

3/18[日] 14:00~
静岡交響楽団 第77回定期演奏会
~ベートーヴェン・シリーズ vol.11~
「オーケストラ・ワンダーランド」
 静岡市清水文化会館マリナート
 A席4,500円、B席3,500円(B席学生1,500円)
 【問】特定非営利活動法人静岡交響楽団 tel.054-203-6578

2/17[土] 14:00~
Team Funniest パフォーマンスショー
 川根本町文化会館
 一般1,000円、小中高生500円
 【問】川根本町文化会館 tel.0547-59-3106

2/17[土] 18:00~
至高の室内楽
横川晴児(クラリネット)と仲間たち
 静岡音楽館AOI
 3,500円
 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200



3/1[木] 14:00~
 ふじのくに地球環境史ミュージアム連続講座
“天地に在りて、道を究める”
将棋棋士 羽生善治「コンパクトなものの魅力」
 ふじのくに地球環境史ミュージアム
 無料(入館料別途、要事前申込)
 【問】ふじのくに地球環境史ミュージアム tel.054-260-7111

2/17[土] 18:00~
至高の室内楽
横川晴児(クラリネット)と仲間たち
 静岡音楽館AOI
 3,500円
 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200

2/4[日] 15:00~
オーケストラを聴こう
ブラームス:交響曲全集Ⅲ
 静岡市清水文化会館マリナート
 A席6,000円、B席5,000円、22歳以下B席1,000円
 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200

開催中~1/14[日] 9:00~17:00
テーマ展「井伊直虎と遠江の国衆」
 浜松市博物館
 一般300円、高校生150円
 【問】浜松市博物館 tel.053-456-2208

3/2[金] 19:00~
JAZZ LIVE
ジョヴァンニ・ミラバッシ・トリオ
feat. サラ・ランクマン(ヴォーカル)
 静岡音楽館AOI
 4,000円
 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200



風情ある、椿のネーミング
 花の少ない冬に、凛とした表情で存在感を放つ椿。「侘助(わびすけ)」や「袖隠(そでかくし)」…など、品名も情緒的です。静岡市の静峰園・椿の里には約500種類7,000本もの椿があり、1月中旬~3月中旬にかけて次々に咲き誇ります。

イベント情報はふじのくに文化情報センターへ

- ◆グランシップ1階のセンターにて各種チラシ・ポスターを配架・掲示中!
- ◆「ふじのくに文化情報」サイトからイベントの登録・閲覧ができます。本誌への掲載も! www.shiz-bunka.com

新春を彩るのは、『源氏物語』を舞台化したSPACの人気作と、
“宮城聡×シェイクスピア”シリーズの最新作!



撮影:日置真光

#3 チケット販売中

しんしゃく源氏物語

『源氏物語』のなかで唯一の不美人・末摘花(すえつむはな)は、荒れ果てていく屋敷で光源氏を待ち続ける。一途でのんき、時にピンボケな姫のふるまいに侍女たちは翻弄され…。

1/13[土]・14[日]・21[日]・27[土]・28[日]
2/3[土]・4[日]

各日 14:00開演 [1/27(土)のみ19:00開演]

静岡芸術劇場

演出:原田一樹 作:榊原政常 衣裳デザイン:朝倉摂 舞台美術:松野潤 出演:SPAC

静岡伊勢丹にて衣裳展示 12/29[金]~1/4[木] 静岡伊勢丹 1Fショーウィンドー

朝倉摂のデザインによる『しんしゃく源氏物語』の衣裳がショーウィンドーを飾ります。物語の世界観を一足お先にご覧いただけます。



2005年 東京国立博物館 日本庭園 特設能舞台での公演より 撮影:内田琢麻

#4 チケット販売中

ミヤギ能 オセロー ~夢幻の愛~

黒い肌の軍人オセローと、ヴェネツィア貴族の娘デズデモナーのあまりにも純粋な恋。シェイクスピア四大悲劇のうちで最も痛切な「愛の物語」を、宮城聡が夢幻能の形式でたどる。仏アヴィニオン演劇祭のオープニングで絶賛を受けた宮城が放つ、シェイクスピアシリーズ第4弾。

2/11[日・祝]・18[日]・24[土]・25[日]
3/3[土]・4[日]・11[日]

各日 14:00開演 [2/24(土)のみ18:00開演]

静岡芸術劇場

演出:宮城聡 原作:ウィリアム・シェイクスピア(訳:小田島雄志) 謡曲台本:平川祐弘 出演:SPAC

SPAC 人材育成事業 第19回「すばっくこども大会」出演者募集

オンリーワンのパフォーマンス、あつまれ!子どもたちの魅力的な個性を、静岡芸術劇場の大舞台上で発揮してみませんか?

発表日 3/18(日)

※参加者多数の場合は3/17(土)・18(日)に開催します。

会場 静岡芸術劇場

応募受付開始 1/5(金) 応募締切 2/2(金) 必着

応募対象 静岡県在住の小学生、1組3名以内

お問い合わせ SPAC-静岡県舞台芸術センター TEL.054-203-5730

チケット	一般	1公演 4,100円	チケット購入方法	電話予約 / SPACチケットセンター(受付時間10:00~18:00) TEL: 054-202-3399 ウェブ予約 / www.spac.or.jp/ticket
	ゆうゆう割引 学生割引	1公演 3,400円(満60歳以上対象) 大学生・専門学校生 1公演 2,000円 高校生以下 1公演 1,000円 ※その他各種割引あり		



「秋→春のシーズン」および「こども大会」の詳細はSPAC公式サイトをご覧ください。 www.spac.or.jp

Twitter 公式アカウント

@_SPAC_

Facebook 公式ページ

SPACshizuoka



平川 祐弘(ひらかわ・すけひろ)

1931(昭和6)年東京生まれ。東京大学名誉教授、比較文化史家。フランス・ドイツ・イギリス・イタリアに留学し、北米・中国・台湾などでも教壇に立つ。ダンテの『神曲』の翻訳者。「平川祐弘著作集」(勉誠出版)全34巻刊行中。第23巻『謡曲の詩 西洋の詩』に『夢幻能オセロー』の台本が収められている。

宮城聡(SPAC芸術総監督)によるシェイクスピアシリーズ第4弾は、「夢幻能」と言われる能の形式を用いた、かつてない。幽玄の「オセロー」。

黒い肌の軍人オセローの嫉妬がもたらす悲劇として知られる原作だが、ミヤギ能「オセロー」は、殺された妻デズデモナー、つまり死者の側から描くことで、悲劇を痛切な「愛の物語」へと昇華させている。

この謡曲台本(能の台本)の生みの親である平川祐弘氏に、創作のきっかけなどを聞いた。

「オセロー」を「夢幻能」の形式に仕立てた経緯を教えてください。

イギリスの東洋学者でアーサー・ウェイリーという人がいますね、1919年に「マルフィ公爵夫人」という戯曲を日本の「夢幻能」の形式に置き換えるところなる、と説明したんです。日本ではあまり有名じゃないんですが、「マルフィ公爵夫人」はジョン・ウェブスターの代表作で、私は大学4年生の時にたまたま習い、非常に印象深かったんです。当時のイギリスではウェブスターが再評価されていて、この戯曲はよく知られていたんで、ウェイリーの説明は分かり易かったです。でも、日本でウェブスターは知られていない。能を大成した世阿弥も言っていますが、能は話の筋が知られている有名な作品、例えば『源氏物語』などを題材に扱っていて、観客は筋

を知った上で観ているわけでしょう。ですから、日本でも知られているシェイクスピアの戯曲を「夢幻能」に置き換えてみることにしたんです。

でも、シェイクスピアの戯曲なら何でも良いわけではなくて、能の台本には、何か気の利いたセリフ(言葉)がないといけない。夏目漱石はシェイクスピアの戯曲をいくつも俳句にしていて、中でも「オセロー」は秀逸で、「白菊にしばし躊躇う 缺かな」と詠んだ。白い肌のデズデモナーを白菊に、黒い肌のオセローを鉄に例えて、この句を目にした時、「これは使えるな」と思ってた。試しにこの句をセリフに取り入れて学生たちに講義したら、非常な喝采。

そこで「文学界」という雑誌にこれを書いたところ、全く面識がなかった宮城さんから突然「夢幻能オセロー」の台本を書いてくれという依頼があつて。面白いから、改めて原作を読み直して作ったんです。

「オセロー」は、主人公のオセローを中心に「嫉妬の物語」として描かれることが多い中、デズデモナーを中心としたのはなぜですか?

「夢幻能」は、この世に想いを残した死者(シテ)が、旅僧や旅人(ワキ)の夢の中に亡霊として姿を現し、在りし日の栄光や苦しみを話すことで、最後は成仏するという形式を取ります。デズデモナーは罪もなく殺され、「自分は本当は潔白だったんだ」という想いがある。それは、オセローの真実を知った故の後悔よりも強くこの世に残るで

しよ。だから誤解からオセローに殺されたデズデモナーの方がシテにふさわしいんですよ。

それに、能の登場人物というのは、近代的な解釈では測れないところが面白いんです。例えば人間のジェラシーに特化して、「ジェラシーの権化」として登場させたりする。今の演出家は、しばしば登場人物の細かい心理描写に注意し過ぎていると感じます。だから逆に登場人物の力が弱くなってしまうこともあるわけです。

2005年の東京国立博物館日本庭園 特設能舞台での初演から13年、今回の再演への期待をお願いします。

シテの美加理さんがデズデモナーとオセローを二人二役で演じる、それがまあ上手くて盛り上がりました。「夢幻能」は、リアリズムではなく霊の世界。日本は八百万の神・亡霊がたくさんいる国で、死者と我々の間に会話が成り立つんです。デズデモナーを演じた美加理さんは、まさにスピリチュアルな存在で、憑依という言葉がふさわしい、あの世の人の思いを伝える迫力がありました。私が言うのもおこがましいが、彼女の迫力に台本が合っていた。詩的な言葉になつていったと思えました。今回も演技と言葉がかみ合って、素晴らしい舞台になることを期待しています。

(2017年10月平川祐弘氏の自宅にて)
※イギリスの劇作家、シェイクスピアと同時代に活躍

「アートのなぞなぞ —高橋コレクション展」 共振するか反発するか？

The Riddle of Art: Takahashi Collection
Resonance or Repellence?

精神科医で、コレクターの高橋龍太郎氏が、これまでに収集した作品の点数は、約2500点上ります。この展覧会では、高橋龍太郎氏の目を通して選ばれてきた、1990年代以降の日本の現代アートのエッセンスを、3つのなぞにご紹介します。複数のアーティストたちによって制作された作品を一堂に並べることにより、1990年代後半から現在までの、約四半世紀に、日本で生まれた表現の特徴が、浮き上がってくることでしょう。

それとともに、この展覧会では、「日本の古美術と1990年代以降の日本の現代アートとは分ちがたく結びついている。」との、高橋氏の考えに触発され、学芸員の目で選んだ静岡県美コレクションを、同じ空間に並べて展示します。時代を超えて響き合う作品から、一見似たモチーフを表しながらも、時代と感性の違いによって、その意味が大きく異なる作品まで、解釈に広がりをもたせつつ、その関係性を探ります。組み合わせの妙をご堪能ください。



西尾博之《素粒の館》1997 photo by 木島恵三
Courtesy of YAMAMOTO GENDAI 高橋コレクション蔵



島山直哉《Slow Glass #095》2001
©島山直哉 Courtesy of Taka Ishii Gallery 高橋コレクション蔵

「アートのなぞなぞ—高橋コレクション展」を読み解くための3つのなぞ

なぞ①

いないないばあ

一瞬のうちに消えていく、形のない脆く儂いものを作品化しようとする意志。不完全なもの、目の前に存在しないものに思いを馳せる心象を映し出す表現を指す。

なぞ②

おとな子ども

子どもでもない、大人でもない中間領域の少女を表したイメージや、プラモデル、フィギュア、マンガやアニメ、ゲームといった少年的嗜好が息づく作品を形容する語。

なぞ③

なぞらえ

古くから絵画に表されてきた、富士山や花鳥風月といったモチーフから、屏風絵や浮世絵まで、日本の美の伝統をなぞらえた表現のことを言う。

富士山と静岡ゆかりの画家たち 12/19[火]～2/28[水]

静岡県立美術館といえば、富士山と静岡ゆかりの画家たち。皆さんにお馴染みのテーマです。何度かこのテーマで作品を選んで展示していますが、毎回、違う作家と作品が並びます。それだけ、作品が豊富でバリエーションに富んでいるということでしょう。今回の展示も、外国人が描いた富士山の絵画に始まり、それに影響を受けた日本人の富士山へと続きます。また静岡ゆかりの画家たちでは、静岡県出身者や在住者、そして縁あってしばしの間滞在した画家まで、本県にゆかりの深い画家の作品を展示しました。あらためて、静岡県の文化・風土の豊かさを一つ一つの作品から感じ取っていただければ幸いです。

学芸員による
プロアレクチャー

1/7[日]、1/28[日]、
2/11[日・祝]
午後2時～



徳川慶喜《風景》明治初期(1868-1877年頃) 紙、油彩



ジョルジュ・ゴウ《富士(沼津江浦)》明治18-20(1885-1887年頃) 板、油彩

会田誠《大山楕魚》(部分) 2003
©AIDA Makoto photo by 木島恵三 Courtesy of Mizuma Art Gallery 高橋コレクション蔵

2017.12.23 sat - 2018.2.28 wed

「アートのなぞなぞ—高橋コレクション展」

共振するか反発するか？

Resonance or Repellence?

2017.12.23 sat - 2018.2.28 wed

The Riddle of Art: Takahashi Collection

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

中村岳談《鮎水韻》(部分) 1931 (昭和6年) 静岡県立美術館蔵 (展示期間: 12月23日～1月28日)

開館時間＝10:00～17:30 ※展示室への入場は17:00まで 休館日は毎週月曜日
(年末年始2017年12月29日[金]～2018年1月1日[月・祭]は休館/2018年1月8日[月・祝]、2月12日[月・祝]は開館、翌日(祝日)は閉館)
観覧料＝一般1,000円(600円)、70歳以上500円(400円)、大学生以下無料
*(1)特別展の2階以上3階以下は特別観覧料 特別観覧料は別途設定してあります。(2)特別展の特別観覧料は、特別観覧料の2倍です。特別観覧料は、特別観覧料の2倍です。特別観覧料は、特別観覧料の2倍です。
主催＝静岡県立美術館、静岡市立美術館、静岡市立美術館、静岡市立美術館、静岡市立美術館、静岡市立美術館、静岡市立美術館、静岡市立美術館
企画協力＝中村岳談、丸島やよい、エヌ・アンド・ユー・アート・ギャラリー

グランシップ貸施設のご案内

華やかなイベントに最適

楕円形を生かし多目的にご利用いただける交流ホール



パーティー



シアター形式



音楽公演

明るい色調の木材を基調とした楕円形のフロアを持つ交流ホールは、パントリーを備えたレセプション会場としてご利用いただけます。また隣接する展示ギャラリーと併せた展示会場や、催事開催支援サービスを利用して照明演出にこだわったダンスフロアとしてもご活用いただけます。

耳より情報

交流ホール南側ロビーには、備え付けのクローク棚がございます。参加者の手荷物が多いイベントでご活用いただけます。

パーティー、講演会、ダンスと使用用途は様々です。まずはお気軽にご相談ください。

(催事サービスグループ スタッフ 久保田 梓)



●催事開催支援サービス

セルフサービスからフルサービスまで、ご希望に合わせてご利用いただけるケータリングメニューを一新しました。ご指定の時間に配達場所までお届けします。詳しくはHPをご覧ください。

●TOPIC

同一階の施設を全てお借りいただくと、共有スペース部分もご利用可能となり、催事の運営が非常に便利です。例えば10階貸切の場合、通常一般開放している展望ロビーも、1001会議室との連結で広々ご利用いただけます。詳しくはお電話にてお問い合わせください。



空き状況はWEBでもご覧いただけます。

交流ホールのご予約は、使用開始日1年前の同月初日よりお電話にて承ります。

施設のご予約・サービスに関するお問い合わせ

(公財)静岡県文化財団 事業課 催事サービスグループ

TEL:054-203-5713 (受付時間9:00~20:00 ※休館日を除く)

FAX:054-203-6710 E-mail:yoyaku@granship.or.jp

アンドレス・オロスコ=エストラーダ指揮
フランクフルト放送交響楽団 ピアノ:チョ・ソンジン
6/10(日) 14:00~
中ホール・大地
S席12,300円 A席9,800円 B席7,200円 こども・学生1,000円
友の会先行販売 2/11(日・祝)~17(土)
一般発売 2/18(日)~

グランシップ企画事業 1~3月のチケット発売・ 申込受付情報

※2017年12月現在の情報です。内容等変更になる場合があります。

国立劇場 歌舞伎鑑賞教室
6/26(火) 11:00~/14:30~
中ホール・大地
一般3,600円 こども・学生1,000円
友の会先行販売 3/25(日)~3/31(土)
一般発売 4/1(日)~

Steve Gadd on Blicher Hemmer Gadd Project
~スティーヴ・ガッド スーパー・ジャズ・ライブ~
3/8(木) 19:00~
6階交流ホール
一般5,100円 こども・学生1,000円
友の会先行販売 1/7(日)~1/13(土)
一般発売 1/14(日)~

〈グランシップ伝統芸能シリーズセット券〉
6/26(火) 国立劇場 歌舞伎鑑賞教室
8/10(金)~12(日) 三谷文楽
9/8(土) グランシップ静岡能 能楽入門公演
2019年1/27(日) グランシップ静岡能
2019年3月 人形浄瑠璃 文楽
5公演で合計20,800円のところ、15,500円
友の会先行販売 3/25(日)~3/31(土)
一般発売 4/1(日)~

ザ・ワールド・オブ・4トロンボーンズ+
タップダンサー熊谷和徳
5/11(金) 19:00~
中ホール・大地
一般5,100円 こども・学生1,000円
友の会先行販売 2/11(日・祝)~17(土)
一般発売 2/18(日)~

※予定枚数に達し次第終了 ※電話、窓口のみ

TICKET グランシップ企画事業の公演チケットは、以下の方法でお求めいただけます。(ご購入の際は、友の会へのご入会がオトクです。P22参照)

グランシップWEBサイトから

http://www.granship.or.jp/
グランシップWEBサイトのトップページの「チケット」から、空席状況に応じてお好きな席をお選びいただけます。(要事前登録、無料)
チケットの受取
コンビニ(サークルK・サンクス、セブン-イレブン、ファミリーマート・手数料無料)、郵送(送料410円)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)

お電話で

グランシップチケットセンター
TEL.054-289-9000
(営業時間10:00~18:30)
チケットの受取
コンビニ(サークルK・サンクス、ファミリーマート・手数料無料)、郵送(送料410円)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)

グランシップチケットセンター窓口で

グランシップ内
チケットセンター窓口
(営業時間10:00~18:30)
チケットの受取
お支払い(現金またはクレジットカード)後、その場でチケットをお渡します。

PRESENT 『GRANSHIP』vol.12 読者アンケートプレゼント

ウラディーミル・フェドセーエフ サイン入り公演プログラム

『GRANSHIP』vol.12のアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で3名様に11/4に開催された「ウラディーミル・フェドセーエフ指揮 チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ」指揮者のサイン入りツアープログラムをプレゼントいたします。官製はがきまたはメールで、住所・氏名・性別・職業・電話番号・アンケートのお答えをご記入の上、下記までお送りください。



3名様

[1] 今号でよかった記事は? [2] 本誌へのご意見・感想をお聞かせください。
アンケート内容は、今後の誌面作りの参考とさせていただきます。尚、頂いた個人情報プレゼントの発送にのみ使用します。締切は2018年2月15日(当日消印有効)です。

官製はがき宛先 〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号
グランシップマガジン『GRANSHIP』vol.12 プレゼント係

メール宛先 info@granship.or.jp
(件名に、『GRANSHIP』vol.12 読者アンケート係 とご記入ください)

編集 後記

バリ管弦楽団の奏者と共に、特別支援学校でミニコンサートを開催しました。世界的なアーティストの演奏を楽しんでもらえてほっとしましたが、障害を持つ子どもたちに音楽を届けることで、改めて音楽家としてのミッションを感じたという言葉は奏者自身からも受けました。私たちスタッフは、多くの方にグランシップでの多彩な公演を楽しんでいただきたいと日々企画し、ご案内していますが、様々な理由からグランシップまで足を運ぶことが難しい方も多くいらっしゃいます。日頃のアウトリーチ活動の必要性を改めて感じると共に、グランシップだけでなく県内の隅々まで細やかに文化芸術を届けられるよう、更に努力していきたいと思ひます。

GRANSHIP SUPPORTER

グランシップでは、スタッフと同様にグランシップの運営を支えるボランティアスタッフ約160名が「グランシップサポーター」として活動しています。今回は、サポーター有志が企画開催した「グランシップ懐かしの映画会」の様子をご紹介します。



10/21(土)・22(日)の2日間にわたり、サポーター有志による「グランシップ懐かしの映画会」を開催しました。優れた日本映画をフィルムで楽しんでもらう機会として、毎年多くの方が楽しみにしています。今回も、日頃の担当業務を超えたサポーターが集まり、事前に何度も打ち合わせを重ねて、当日を迎えました。ロビーには、今回上映した映画の市川崑監督に関する資料や、公式記録映画「東京オリンピック」にまつわる資料として当時のパンフレットや、サポーター自身が撮影した聖火リレーの写真なども展示。悪天候の中、ご来場いただいたお客様を丁寧に案内しました。お客様とのふれあいを楽しみながら、サポーター自身も充実した時間となりました。